

一本柳遺跡群

西一本柳遺跡IX

長野県佐久市岩村田西一本柳遺跡IX発掘調査報告書
(古墳時代後期～中世集落址、墓址他)

2004. 1

株式会社カワチ薬品
東鉄工業株式会社
佐久市教育委員会

一本柳遺跡群

西一本柳遺跡IX

長野県佐久市岩村田西一本柳遺跡IX発掘調査報告書
(古墳時代後期～中世集落址、墓址他)

2004.1

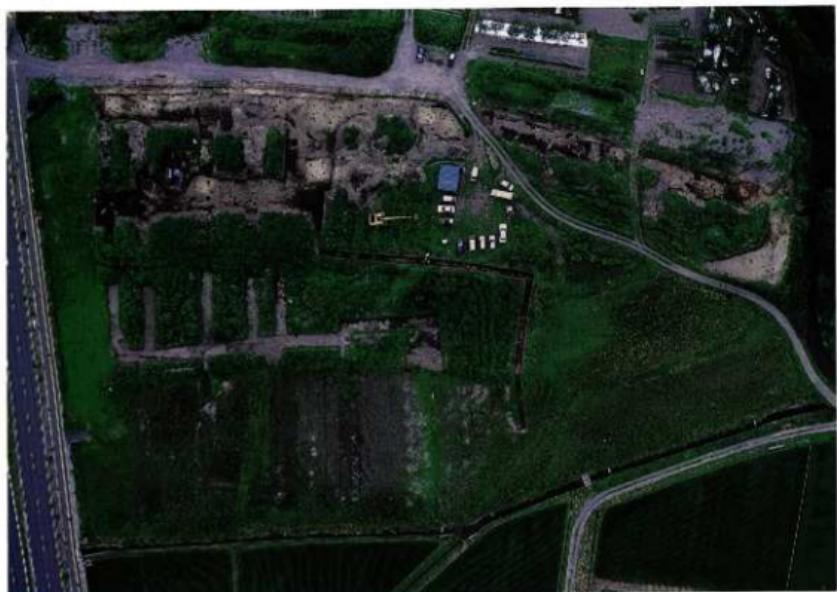
株式会社カワチ薬品
東鉄工業株式会社
佐久市教育委員会



一本柳遺跡群西一本柳遺跡区 遠景（南より）



一本柳遺跡群西一本柳遺跡区 遠景（東より）



西一本橋遺跡区 東側全景（北より）



西一本橋遺跡区 中ほど全景（東より）



西一本橋遺跡区 H1・H2号住居址付近（南より）



西一本橋遺跡区 西側全景（西より）

例　　言

1. 本報告書は、佐久市岩村田地籍において平成14年度から平成15年度にかけて行われた新店舗建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の報告書である。
2. 発掘調査はカワチ薬品・東鉄工業の委託を受け、佐久市教育委員会文化財課が担当した。
3. 本書に掲載した地図は、建設省国土地理院発行の地形図（1:25,000）、佐久市発行の基本図（1:2,500）を使用した。
4. 発掘調査は真泉かよ子が担当し、本書の編集・執筆は森泉が行った。
5. 航空写真は株式会社フジヤマに委託し、それを使用している。
6. 自然科学分析・鑑定は株式会社古環境研究所、株式会社パレオ・ラボに依頼した。
7. 本遺跡の遺物等の資料は佐久市教育委員会の責任下に置かれている。

凡　　例

1. 遺構の略号は次の通りである。

H—堅穴住居址　F—掘立柱建物址　D—土坑　P—単独ピット　SM—周溝址　M—溝址

2. 掘図中の遺構の縮尺は原則として1/80、掘立柱建物址・周溝址1/100である。異なる場合は明記してある。

3. 掘図中の遺物の縮尺は土器1/4、石製品1/2・1/4・1/8である。図中に明記してある。

4. 掘図中のスクリーントーンは以下のことを示す。

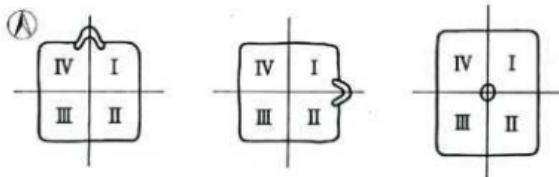
遺構

地山断面		焼	土		粘	土	
柱痕		埴	方				

遺物

須恵器断面		黒色	処理		磯	
赤色塗彩						

5. 遺物の出土地点は下図の遺構分割によるものである。



6. 遺物一覧表内の（ ）は推定、（ ）は残、（ ）は計測不能を表している。蓋は口径、つまみ径、高さを測っている。遺物図版中の指定のないものは、ほぼ1/4縮尺となっている。

目 次

巻頭図版

例言

凡例

目次

第Ⅰ章 発掘調査の概要	1
第1節 調査の経緯	1
第2節 調査組織	2
第3節 調査結果の概要	2
第4節 調査日誌	3
第Ⅱ章 基本層序	3
第Ⅲ章 遺構と遺物	7
竪穴住居址	7
掘立柱建物址	28
単独ピット	29
土坑	29
周溝址	31
溝址	32
竪穴状遺構	33
グリット・出土遺物	33
引川参考文献	33
試掘調査出土遺物	34
付表 遺構一覧表	35
遺物一覧表	38

写真図版

挿図目次

第1図	西一本柳遺跡IX位置図	1
第2図	基本層序模式図	3
第3図	西一本柳遺跡IX発掘区設定図 (1:1,000)	4
第4図	西一本柳遺跡IX全体図 (1:400)	5
第5図	H 1号住居址 (1)	8
第6図	H 1号住居址 (2)	9
第7図	H 2号住居址 (1)	10
第8図	H 2号住居址 (2)	11
第9図	H 3号住居址	12
第10図	H 4号住居址	13
第11図	H 11号住居址	13
第12図	H 5号住居址 (1)	14
第13図	H 5号住居址 (2)	15
第14図	H 10号住居址	15
第15図	H 6号住居址 (1)	16
第16図	H 6号住居址 (2)	17
第17図	H 7号住居址	17
第18図	H 8号住居址	17・18
第19図	H 9号住居址	18
第20図	H 12号住居址	19
第21図	H 13号住居址 (1)	19
第22図	H 13号住居址 (2)	20
第23図	H 14号住居址	21
第24図	H 15号住居址 (1)	21
第25図	H 15号住居址 (2)	22
第26図	H 16号住居址	23
第27図	H 17号住居址	24
第28図	H 18号住居址 (1)	24
第29図	H 18号住居址 (2)	25
第30図	H 19号住居址	26
第31図	H 20号住居址	26・27
第32図	H 21号住居址	27
第33図	F 1～F 5号掘立柱建物址	28
第34図	F 6～F 9号掘立柱建物址	29
第35図	単独ピット出土遺物	29
第36図	D 9～D 12号土坑・集石1	29
第37図	D 1～D 8号土坑	30
第38図	S M 1～S M 3号周溝址	31
第39図	S M 4号周溝址	32
第40図	M 1～M 8号溝址	32
第41図	Ta 1・2号竪穴状遺構	33
第42図	グリット出土遺物	33
第43図	試掘調査出土遺物	34

第1章 発掘調査の概要

第1節 調査の経緯

一本柳遺跡群は、佐久市岩村田地籍に所在し、東西方向に流れる湯川右岸の台地上にある。岩村田市街地の南西1km、標高690mを測り、浅間第1軽石流が地盤をなす切り地形が発達している地点である。一本柳遺跡群は台地上を東西方向の帶状に展開し、中央から西半分を西一本柳遺跡、東半分を東一本柳遺跡、中央部北部を北一本柳遺跡と呼称している。本遺跡群内では昭和43年には東一本柳遺跡が、また昭和46年度には金剛製馬具の飾り金具などを出土した東一本柳古墳が発掘されるなど多くの調査がなされ貴重な資料を得ている。国道141号線の開通により、西一本柳遺跡を南北に貫いた調査がなされた。平成4年の公共下水道事業に伴う西一本柳遺跡Ⅱ、また平成7・8年度の国道141号線の工事に伴う西一本柳遺跡Ⅲ～Vとして調査され、密集した古代集落が検出されている。弥生時代中期から中世に至るまで遺跡と人々の痕跡が残されている佐久市内でも有数な遺跡の一つである。

今回、株式会社カワチ薬品・東鉄工業株式会社により新店舗建設事業が計画され、試掘調査の結果、南側台地部分に遺構が検出された。協議の結果、埋土保存できる駐車場部分は埋土保存とし、建物・排水溝地点は遺跡の破壊が余儀なくされる事態となり、株式会社カワチ薬品・東鉄工業株式会社より委託を受け佐久市教育委員会文化財課が発掘調査を実施することとなった。

遺跡名 一本柳遺跡群西一本柳（にしいっぽんやなぎ）遺跡区（略号INP IX）

所在地 佐久市大字岩村田字下桶田1762他

調査委託者 株式会社カワチ薬品・東鉄工業株式会社

開発事業 新店舗建設事業

発掘調査期間 平成14年6月23日～8月9日

平成14年10月28日～11月11日

整理調査期間 平成14年8月19日～平成16年1月31日

調査面積 3046.4m²（開発面積 16,817.00m²）



第1図 西一本柳遺跡区位置図

第2節 調査組織

調査受託者

佐久市教育委員会	教育長 高 柳 勉
事務局（14・15年度）	
教育次長 黒沢 俊彦（平成14年度）	赤羽根寿文（平成15年度）
文化財課長 嶋崎 節夫	
文化財係長 森角 吉晴（平成14年度）	高村 博文（平成15年度）
文化財係 林 幸彦 三石 宗一 山本 秀典（平成14年度）	須藤 隆司 小林 真寿 富沢 一明 上原 学 赤羽根太郎（平成15年度） 山澤 力

調査体制

調査担当者 森泉かよ子

調査副主任 堀 益子

調査員

浅沼ノブエ	柏木 貞夫	柏木 三郎	柏木 義雄	木内 節夫	神津ツネヨ	小金澤たけみ
小林百合子	小林まさ子	佐藤 愛子	佐藤 剛	田中 章雄	中條 悅子	花里四之助
花里三佐子	林 美智子	細谷 秀子	柳澤千賀子	（平成14年度）		
小林百合子	佐藤 愛子	中條 悅子	林 美智子	細谷 秀子	柳澤千賀子	（平成15年度）

第3節 調査結果の概要

検出遺構

竪穴住居址	21棟（古墳時代後期16棟、奈良時代1棟、平安時代2棟、不明2棟）
掘立柱建物址	9棟（古墳時代6棟、奈良・平安時代3棟）
単独ピット	155個
土坑	12基（井戸址3基）・竪穴状遺構 2基・集石 1基
溝址	8本
周溝址	4基（弥生中期方形周溝1、弥生後期円形周溝1、古墳時代後期円形周溝2）

検出遺物

弥生式土器	杯・高杯・鉢・壺・甕・台付甕
土師器	杯・高杯・鉢・壺・甕・台付甕
須恵器	杯・高杯・鉢・壺・甕
陶磁器	青磁碗・白磁碗
土製品	紡錘車・土製丸玉
鉄製品	鎌・刀子
石製品	石鎌・磨製石鋤・打製石斧・紡錘車・石製模造品・白玉・スリ石・凹石・台石・礫物石・砾石
炭化物種子	H 1 - モモ核、H 16 - スモモ核
炭化材樹種	H 5 - カエデ属、タケ属、H 8 炭化製品（紡錘車？） - クリ、H 13 カマドニレ属
骨	H 4 - シカ歯、H 16 - シカ中節骨、H 17 カマド - 不明骨片ウマ
	M 2 - ウマ左上顎第1後臼歯（成歯）

竪穴住居址は古墳時代後期I期の住居が8棟（6C前半）、II・III期（6C後半）5棟、IV期2棟（7C前半）にほぼ位置づけられる。台地の北端には古墳後期初頭の集落が多く展開していたようだ。また墓址であろう弥生中期の方形周溝、弥生後期の円形周溝、古墳の周溝である古墳時代後期の円形周溝2基が検出された。

試掘調査の結果開発地点の中程にあたる第11トレチの東西線あたりから南に遺構がみられた。したがって北端には竪穴住居址はなく溝のみである。井戸址と推定される土坑は3基あり、集落の北端に多くみられる。さらに北は一段落ちて、水田面となっている。

今回の調査で一本柳遺跡群の古代集落の北西限界が確認された。

第4節 調査日誌

平成14年度（2002）

6. 13～7. 25

試掘調査から本日より第一次の本調査を始める。遺構の検出後掘り下げ、遺構撮影、図面記録を行う。

例年暑いが、今年はまた特に厳しい暑さである。



10. 28～11. 11

試掘に引き続き2次（西側）の発掘調査を行う。浅間山には初冠雪がみられ、昨日は半年より3℃ほど気温低い。

10. 28～3. 26

室内にて土器洗浄、土器注記・接合、実測などの整理作業開始。



平成15年度（2003）

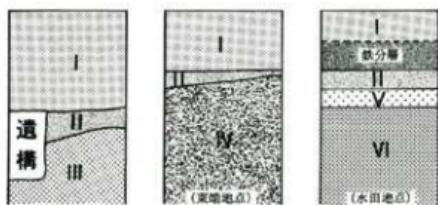
4. 1～1. 31

室内にて土器注記、土器接合、石膏復元、図面修正、土器実測、遺構遺物図トレース、版下作成、遺物撮影を行い、総集後報告書を刊行する。



第Ⅱ章 基本層序

西一本梅遺跡は、佐久市の北部中央に位置し、湯川右岸の河岸段丘上に展開している。標高は689.97～687.20mを測る。西一本梅遺跡は台地の北西端にあたり、南から北に、東から西に傾斜し低くなっている。調査範囲は東西幅約180m、南北の最大幅約110mを測る。北東は一段高い畠地から、1.3～1.5m、2.5mの段差を持って、北は水田となっている。遺構の構築される土質も変化し、西側には原泥流の残丘が露出しており、岩盤または明黄褐色の粘質土である。その東から国道141号線付近までは黄褐色の砂質土層（2次堆積層）が厚く堆積し、大半の遺構の構築土層である。遺構の壁の崩壊の激しいところである。東端は浅間第一軽石流（P1）が構築土层となっている。北は低地となり、水田層が堆積する。



第2図 基本層序模式図

- I層 耕作土
- II層 黒褐色土層 (10YR2/3)
低地に堆積。
- III層 にぶい黄褐色土層
(10YR6/4) 2次堆積砂質土。
- IV層 黄褐色土層 (10YR5/6) (P 1)
- V層 灰黄褐色土層 (10YR4/2)
砂層。1cm大小石含む。
- VI層 灰黄褐色土層 (10YR4/2)
粘質土。

第3図 西一本郷跡IX免振区設定図 (1 : 1,000)





第4図 西一本柳遺跡IX全体図 (1 : 400)

第Ⅲ章 遺構と遺物

1. 穴住居址

本調査では穴住居址は21棟が調査された。遺物の出土状況、遺構の残存状況が明確ではないH11とH14は時期不明として扱い、H8は大半をカクランされ伴出遺物に良好なものはないが土器は古墳時代後期のものである。他の18棟について遺物・遺構からおおよその時期をみておきたい。2003 佐久市教育委員会『西一本桜遺跡』第5章第2節に沿っている。

(1) 古墳時代後期

古墳時代後期Ⅰ期

H3 土師器杯B（低い丸底から口縁が外反気味に長い）が主体である。

甕は胴下部が下彫れし、下部は横方向のヘラケズリがなされる。

共伴する白玉は小型で後のものより、精製される。

H2 土師器杯Bは3~5の杯がある。段線位置は低くなり、明瞭さをやや欠いている。

土師器杯C（底部から口縁が全体に内溝する）6~12が主体を占める。

土師器甕は底部が厚く、最大径は胴部に持っている。

H10 土師器杯Eと杯C 2点があり、口径が大きくH2と類似している。

H19 土師器杯Bがあり、大振りである。

H6 土師器杯Bは、底部が平底に近い。

土師器甕は胴部径に最大径を持つ。

（古墳時代中期の土器を混入し、Dあ6グリットの高杯、小型丸底などあわせて古墳時代中期の遺構と重複か。）

H7 土師器杯Bが1点実測される。大振りで、段線が下部に下がるが丸底を呈している。

H13 土師器杯B、杯Cを主体とする。杯Bは口径が大きい外縁は低い位置にあるが明瞭なものである。

土師器甕は長胴で下彫れの器形である。7の多孔鉢形甕がともなう。多孔の甕は混入品か。

H15 須恵器杯身は立ち上がりが長く外反気味に立ち上がり、受け部は短かい。口径15.8cmで大振りである。（MT15号窯様式に似る。6C初頭）

土師器杯は杯Bを主体とし杯Bの外縁は明瞭である。杯Eもある。

土師器甕は長胴であるが最大径は胴部にある。18・20・21は南西隅の土坑上面から完形で出土し、土師器杯類より新しい様相を持っている。

古墳後期Ⅱ

H1 受け口のある須恵器杯身（MT85窯様式、6C後半）を出土する。

土師器杯は7~9の有段口縁杯Eが主体を占める。

H18 土師器杯は杯Eである。土師器長胴甕は長胴化し、口縁部に最大径を持つ。8の甕は中位に最大径があり、壠方の旧プランにともなう前代のものであろうか。古墳時代中期の土器も混入する。また須恵器杯甕は小型でかえりのあるもので、後代の混入であろうか。

H12 杯E 3の有段口縁杯、器肉の厚い縁ヘラケズリの甕をともなう。

古墳時代後期Ⅲ

H16 小振りの、赤褐色を呈する土師器杯Eがある。外縁は不明瞭である。

H5 須恵器甕は天井部が歪み、外面ヘラケズリは回転か手持ちであるか不明瞭なものである。外縁は沈線に近いものとなる。口径11.1cmを測る。（MT85号窯様式に似る。6C後半）

土師器杯は杯Eが主体で外縁が明瞭な10と不明瞭な11の両者がみられる。

土師器甕は長胴で、口縁部に最大径を持つ。

古墳後期Ⅳ

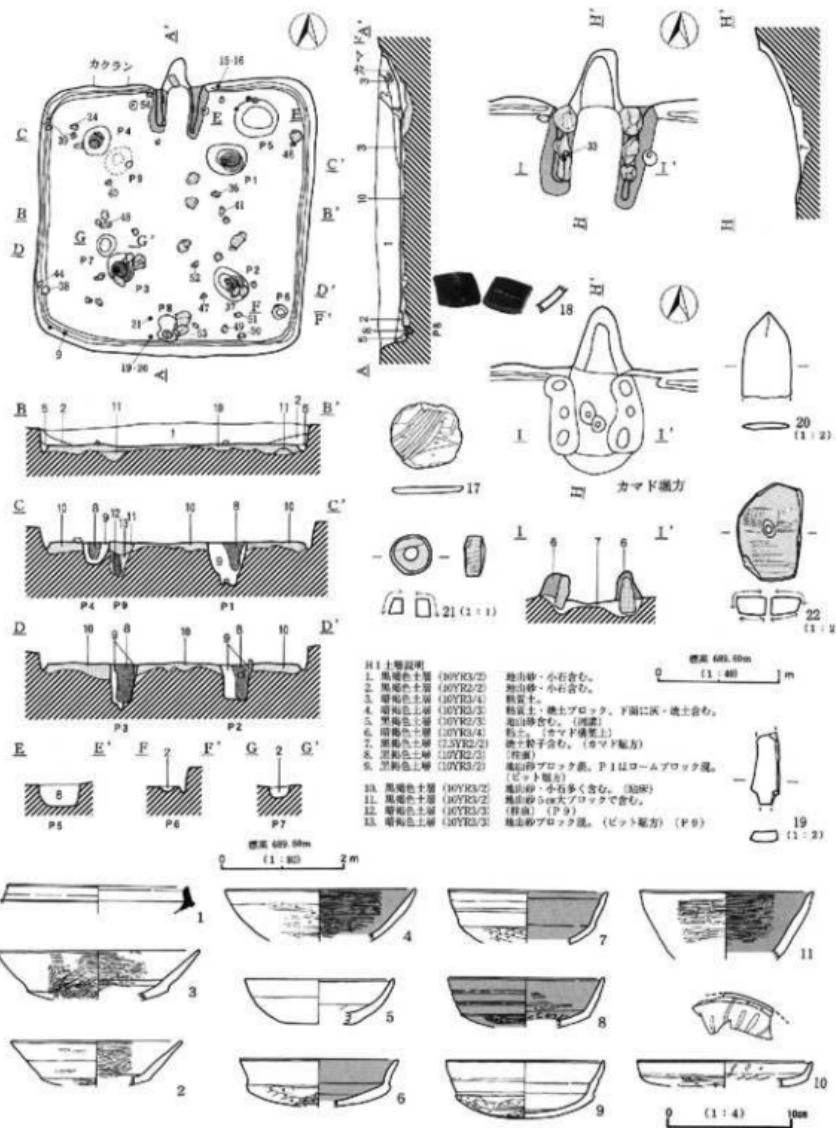
H4 土師器杯は全体に小振りの杯Eで、丸底から中位に外縁を持って口縁が立ちあがる。

須恵器杯蓋模倣杯の杯Eが主体を占める。杯Eの外縁は不明瞭なもので調整の差異により、沈線に近いものである。土師器甕の胴部調整は横方向のヘラケズリである。

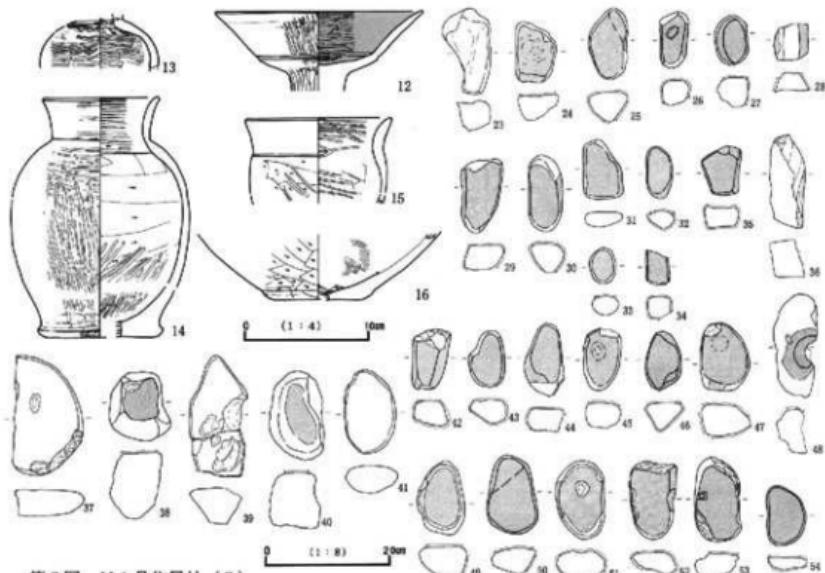
H9 須恵器杯甕は、かえりのつくものである。（TK217窯様式以後、7C前半中頃以降）

（9頁につづく。）

H 1



第5図 H1号住居址(1)



第6図 H11号住居址(2)

長胴甕は口縁部が強く外反し、胴部は縦ヘラケズリである。

住居址形態・規模

いずれもカマドが北壁に設けられ、古墳後期Ⅰは東西に長いが方形基調の住居址で、H3・H2・H13は短軸が423~444cm、H6 504cm、H16 522cmの中規模住居、H6が652cmと大規模住居である。

古墳後期Ⅱでは方形基調であり、短軸428~514~540cm規模の中規模住居址である。古墳後期Ⅳには小型の短軸288cmの長方形の住居がある。

古墳時代後期Ⅰが6C前半、古墳時代後期Ⅱ・Ⅲが6C後半、古墳時代後期Ⅳが7C前半という年代があてられよう。
(2) 奈良時代の竪穴住居址

H21の1棟が奈良時代である。須恵器杯底部が回転ヘラ切りされるものと、一部手持ちのヘラケズリが加えられるものとがある。土師器杯は外面がヘラケズリされ、底部にいくらか丸みを持ち、内面に陳らかな暗文が施されている。これより奈良Ⅱ期に該期があてられよう。

(3) 平安時代の竪穴住居址

H17とH20の2棟がある。H17は須恵器杯が主体を占め、土師器杯底部に回転糸切り離し後手持ちのヘラケズリされ、平安Ⅰ期に相当する。H20は土師器杯が主体を占め、ロクロ甕が共伴することから平安Ⅱ期であろう。

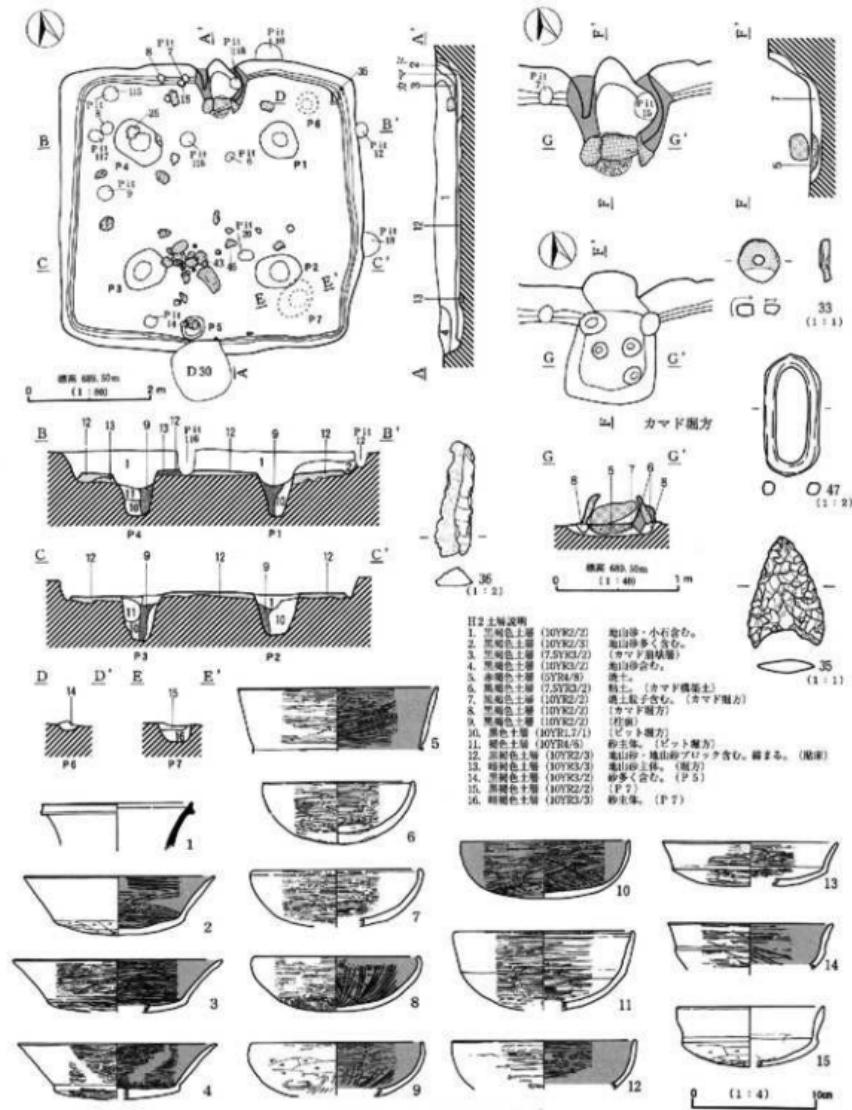
本遺跡の竪穴住居址は古墳時代後期16棟、奈良時代1棟、平安時代2棟である。

2. 掘立柱建物址

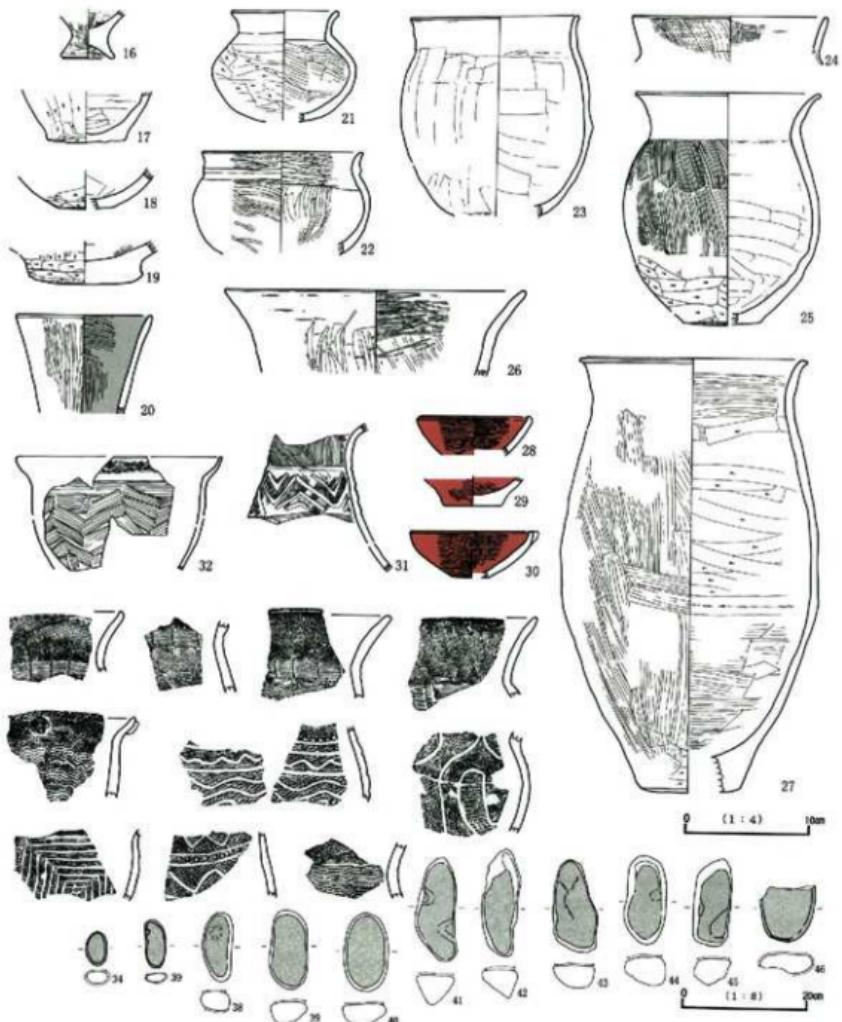
9棟の掘立柱建物址を調査した。F1とF9は重複しており、北が調査区域外であるため、1遺構であるか報告した2遺構であるかは明確ではない。連結した遺構である可能性もある。P3より武藏甕片を出土し、奈良・平安時代以降の掘立柱建物址である。F2・F3・F4・F6・F8からは古墳時代後期の杯・甕片がみられ、新しい土器片の混入がないことから、古墳時代後期が該期であろう。またF2は古墳時代後期の周溝に切られている。F5は古墳

(11頁につづく)

H 2



第7図 H 2号住居址 (1)



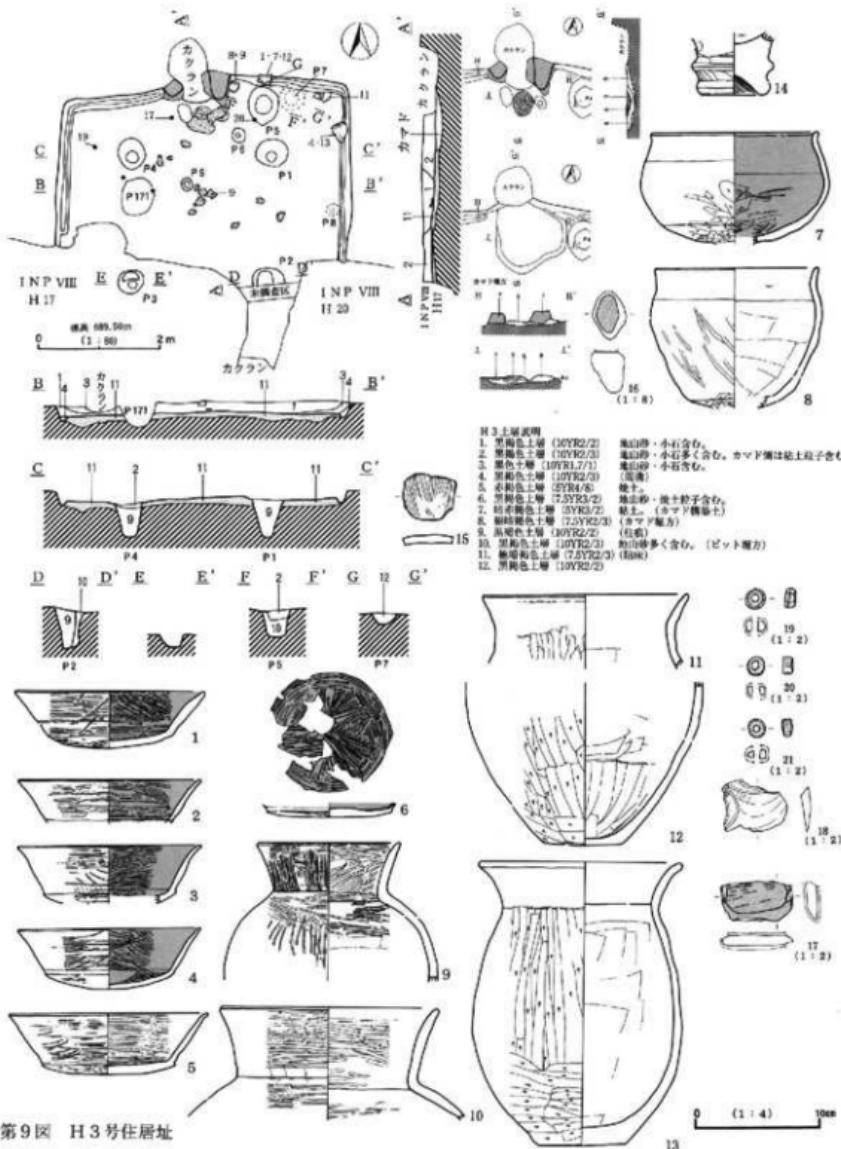
第8図 H2号住居址 (2)

時代後期末か奈良であるか明確ではなく、古墳後期より後出するであろうか。1間×2間がF8の1棟、2間×2間がF4の1棟、3間×2間がF1・F2・F3・F5（推測も含む）の4棟、3間×3間がF9の1棟である。

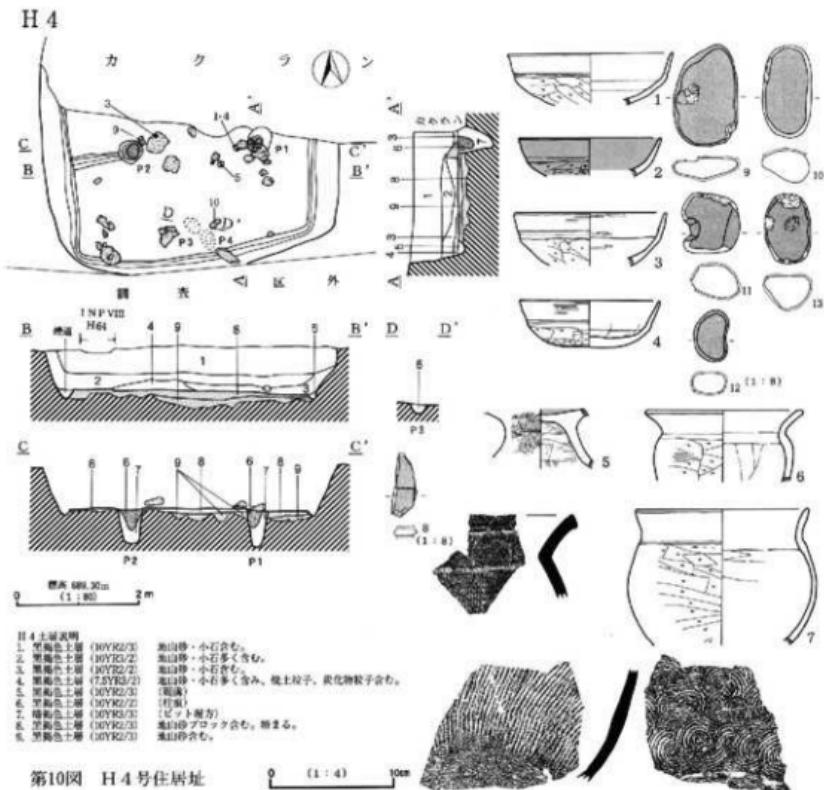
古墳時代後期の掘立柱建物址6棟、奈良・平安以降の掘立柱建物址3棟であろうか。

(19頁につづく。)

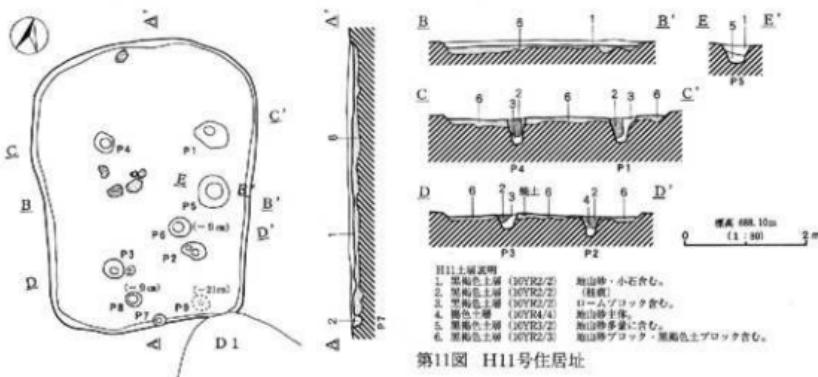
H 3



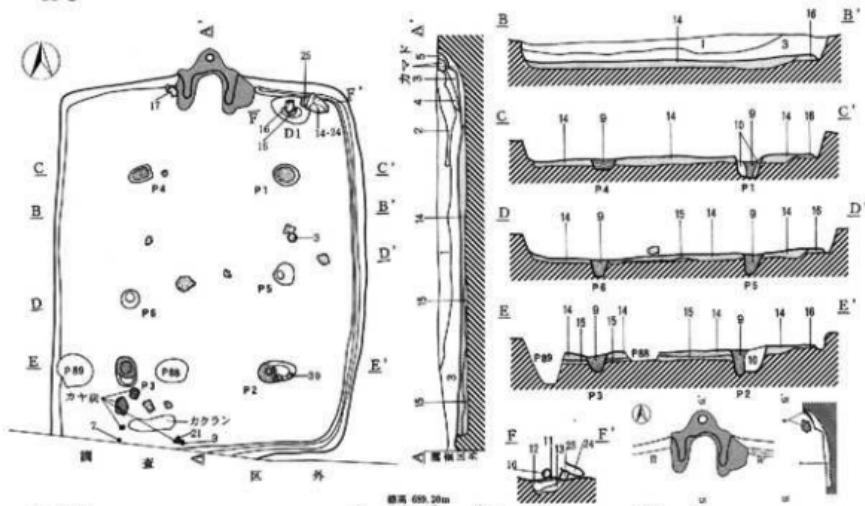
第9図 H3号住居址



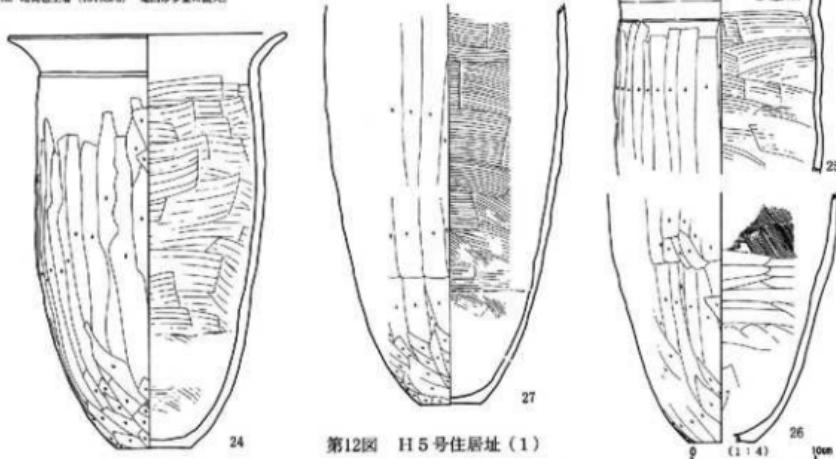
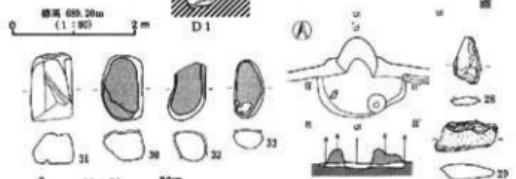
HII



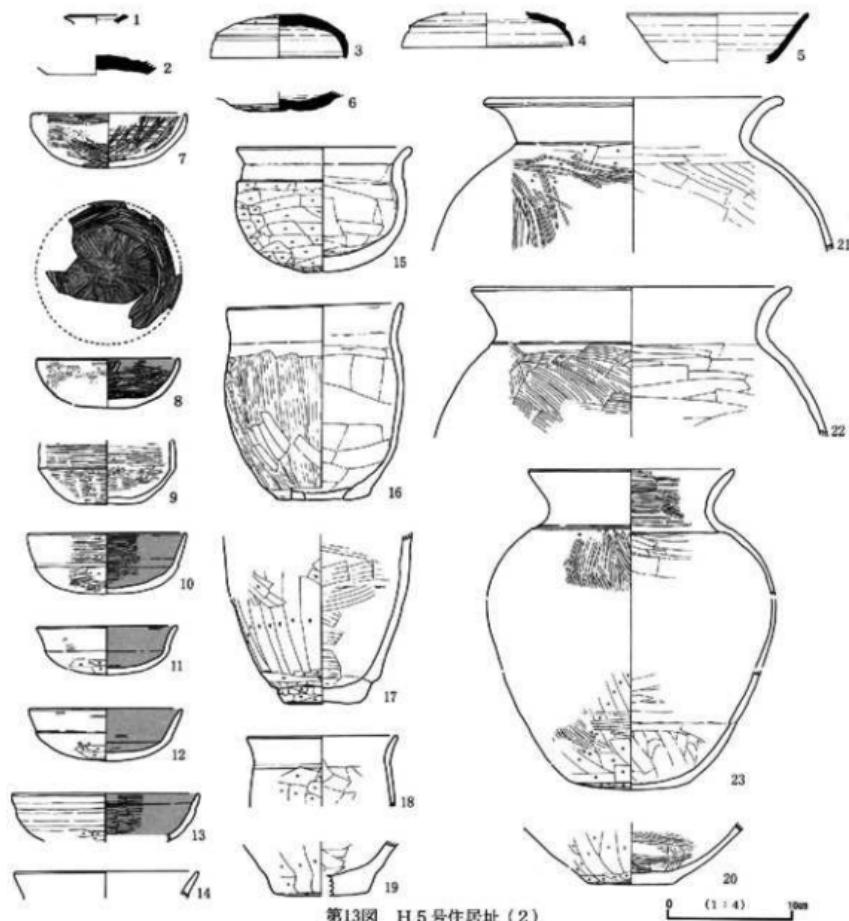
H 5



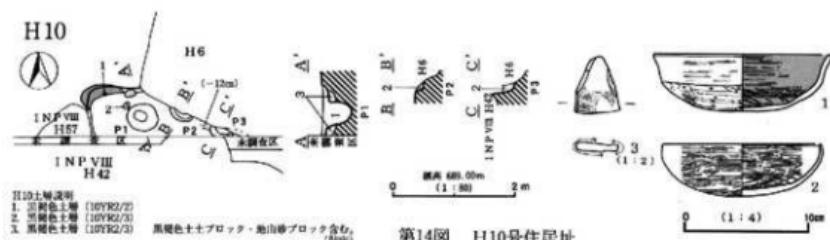
- H 5 土層明細
- 黒褐色土層 (10YR2/2) - 島山砂・小石含む。
 - にぶい黃褐色土層 (10YR6/3) - 白色粘土ブロック多量に含む。
 - 黒褐色土層 (10YR2/3) - 島山砂・小石多く含む。
 - 粘土 (カマド崩壊層) - 下に達けた所あり。
 - 黒褐色土層 (10YR3/3) - 砂・ブロック多く含む。(透道)
 - 黒褐色土層 (10YR2/3) - 砂・ブロック多く含む。
 - 黒褐色土層 (10YR2/3) - 砂・ブロック・粘土含む。
 - 黒褐色土層 (10YR2/2) - 島山砂・塊状に含む。(カマド裏面)
 - 瓦形土層 (10YR2/2) - 「柱底」
 - 黒褐色土層 (10YR2/2) - 塵状砂ブロック混入。(ビット部分)
 - 黒褐色土層 (10YR2/2) - 砂・小石含む。
 - 黒褐色土層 (10YR2/2) - 砂・小石含む。
 - 黒褐色土層 (10YR3/3) - 島山砂多量に含む。
 - 黒褐色土層 (10YR2/3) - 島山砂多く、赤・白色粘土多量に含み、小石多く含む。縫合あり。
 - 正紅色土層 (10YR3/2) - 島山砂・小石含む。
 - 絶対褐色土層 (10YR3/3) - 島山砂多量に混入。



第12図 H 5号住居址 (1)

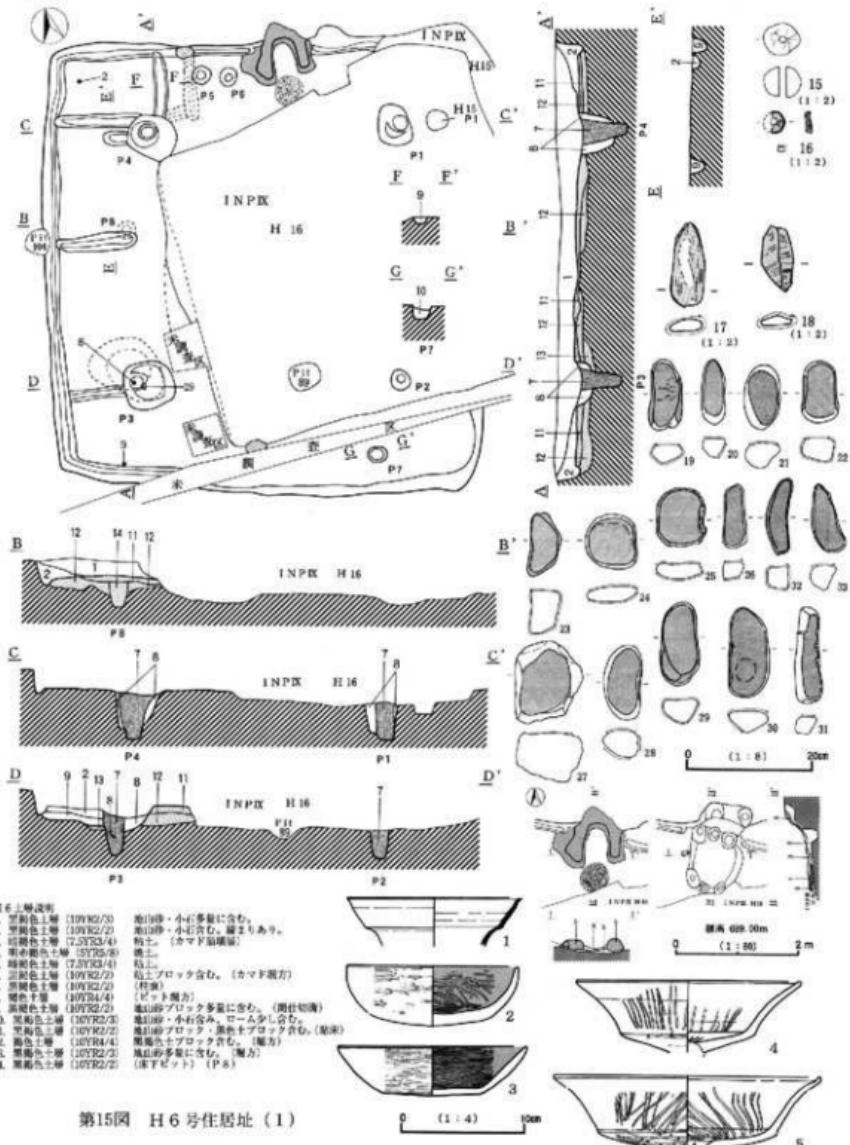


第13図 H5号住居址(2)

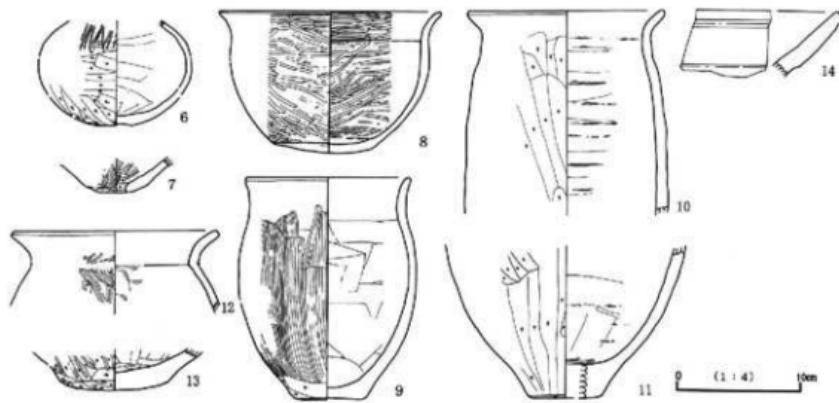


第14図 H10号住居址

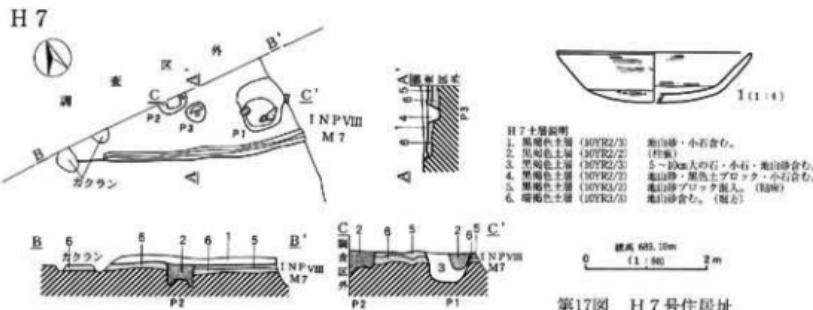
H 6



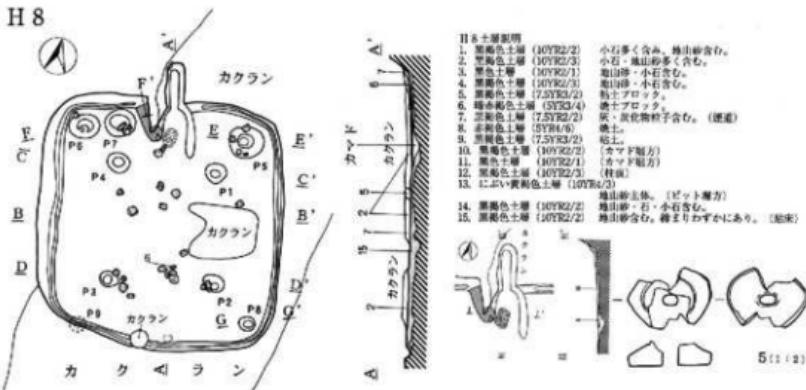
第15図 H 6号住居址 (1)



第16図 H 6号住居址 (2)

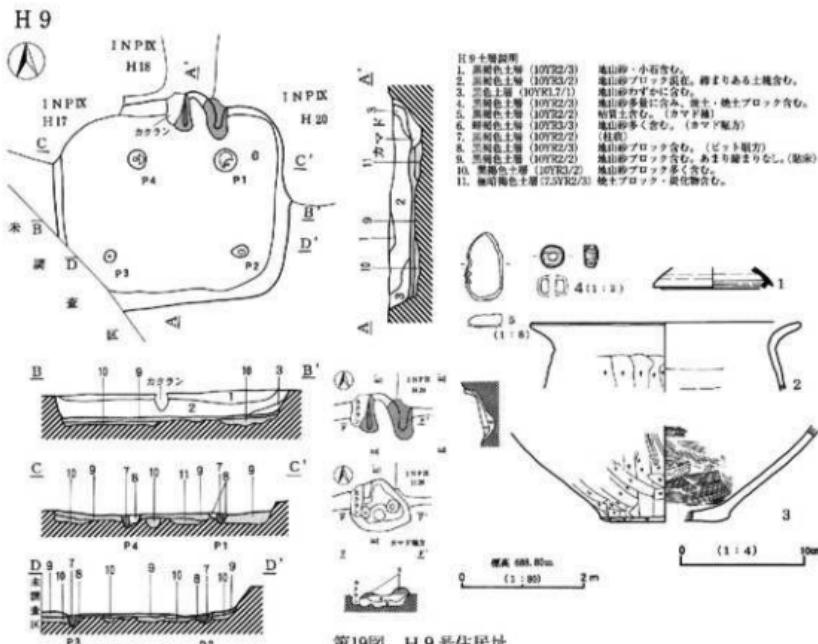


第17図 H 7号住居址

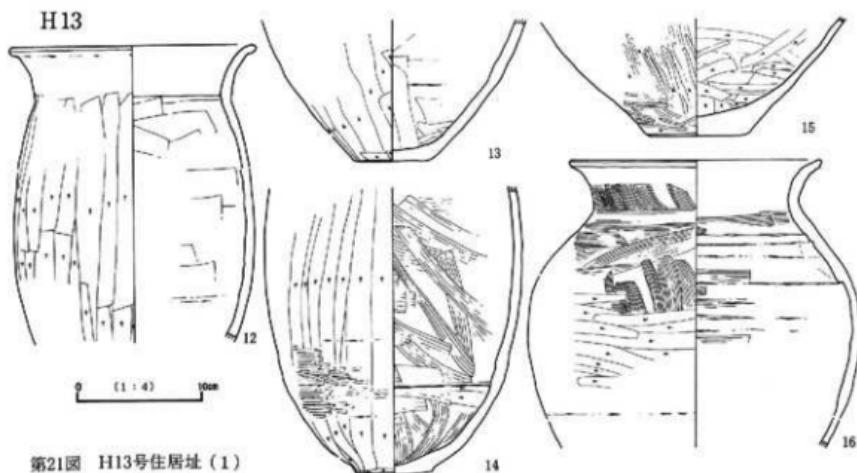
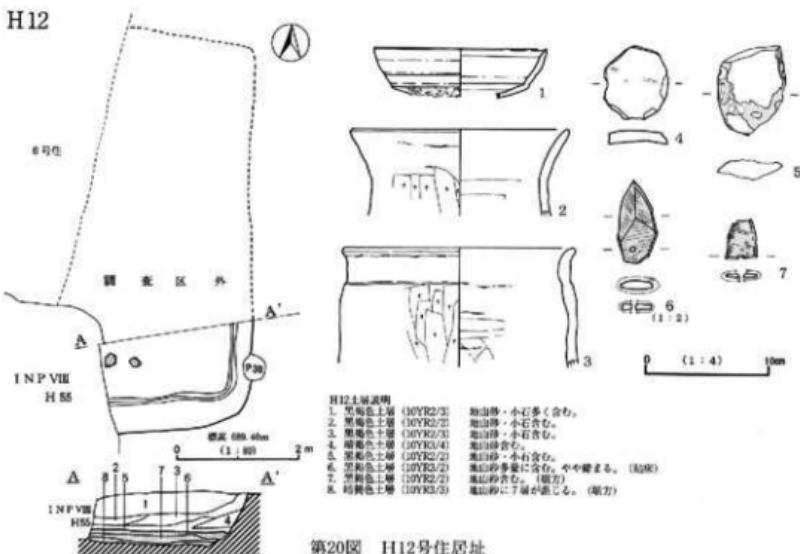




第18図 H8号住居址

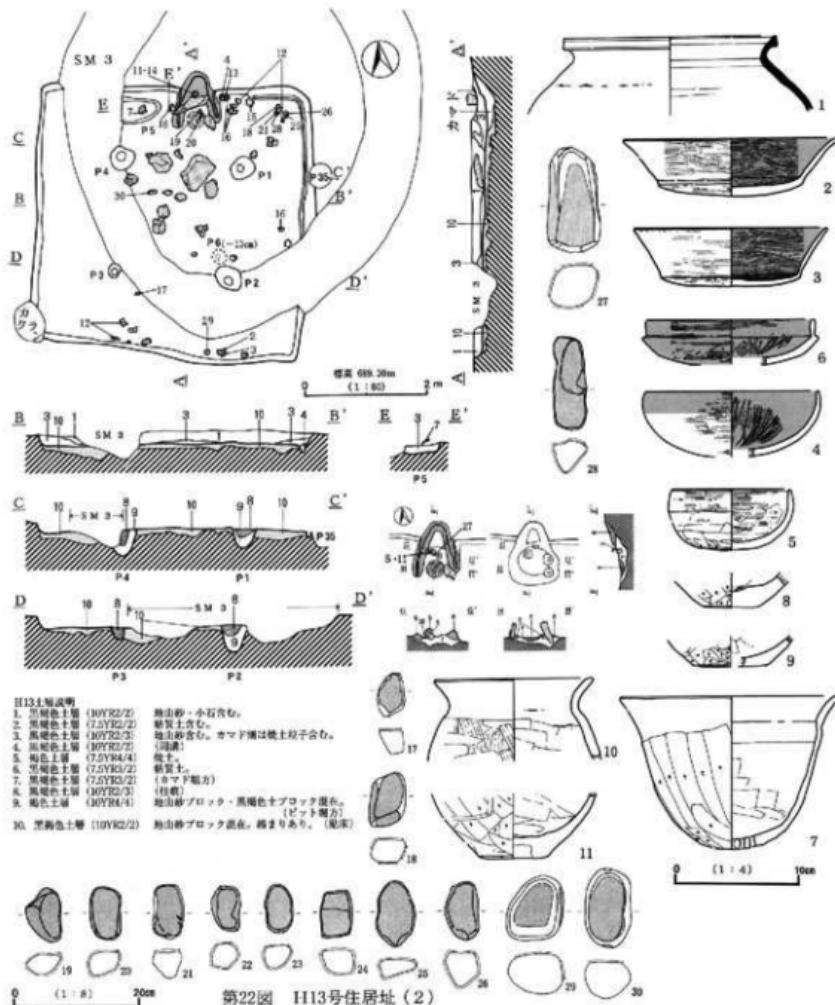


第19図 H9号住居址



3. 周溝址

4基の周溝が検出され、SM2・SM3は造橋の新旧関係、遺物から古墳時代後期と位置付けた。SM1について
は出土遺物が、実測した赤色塗彩の高杯1点と弥生の無彩土器片であるため、弥生時代後期としたがやや決定資料に
欠ける。周溝のほぼ全体が検出されたSM3であるが、円形を呈し、周溝はおそらくは全周するものであろう。隣接
(20頁につづく。)



の北西久保道路1・2次の調査において、古墳中期から後期にかけてやはり円形で全周するまたはあろう周溝が12基検出されている。(1984・1987「北西の久保一・2次」)

弥生中期の壹点を出土し、周溝が円形で全周する。S 4の1基

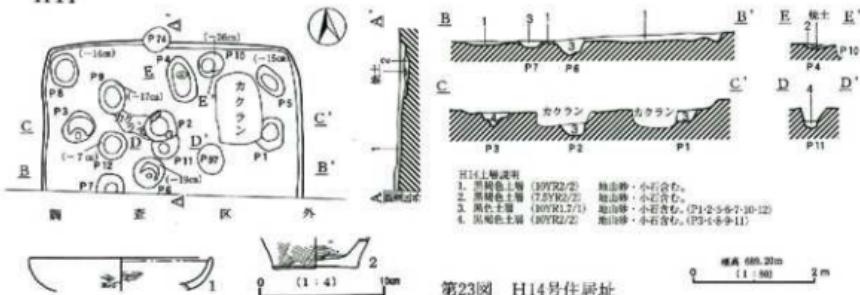
全長1176cm、溝幅最大128cm

古墳中期の土器群を出土し、周溝が円形で全周する。S 2・S 3・S 5・S 11~S 15の8基

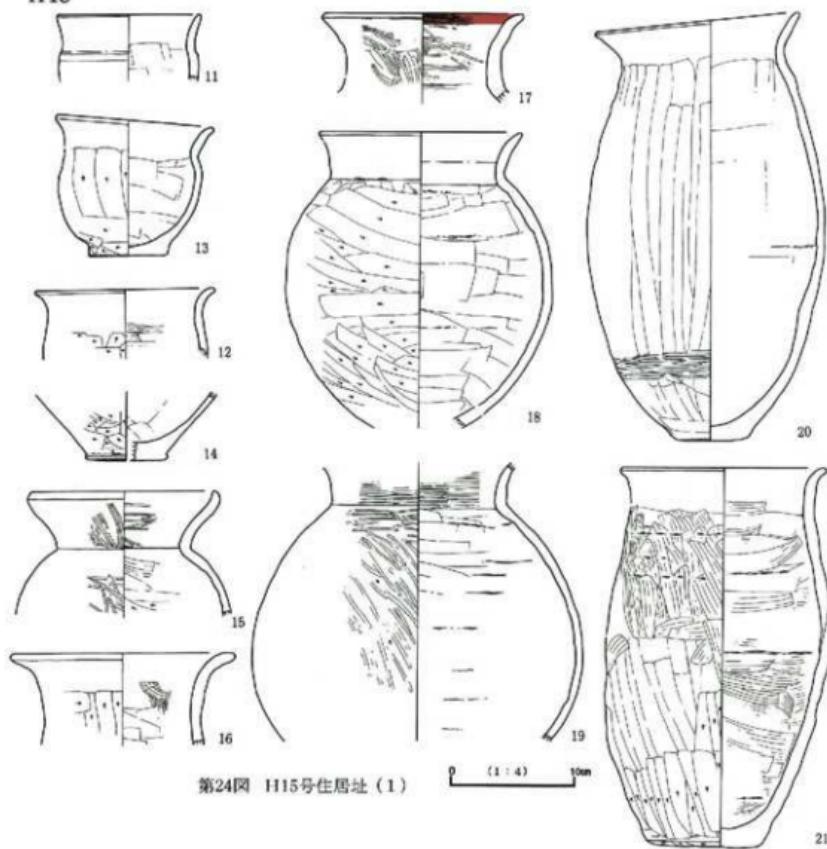
全長1580~2848cm、溝幅最大296~480cm

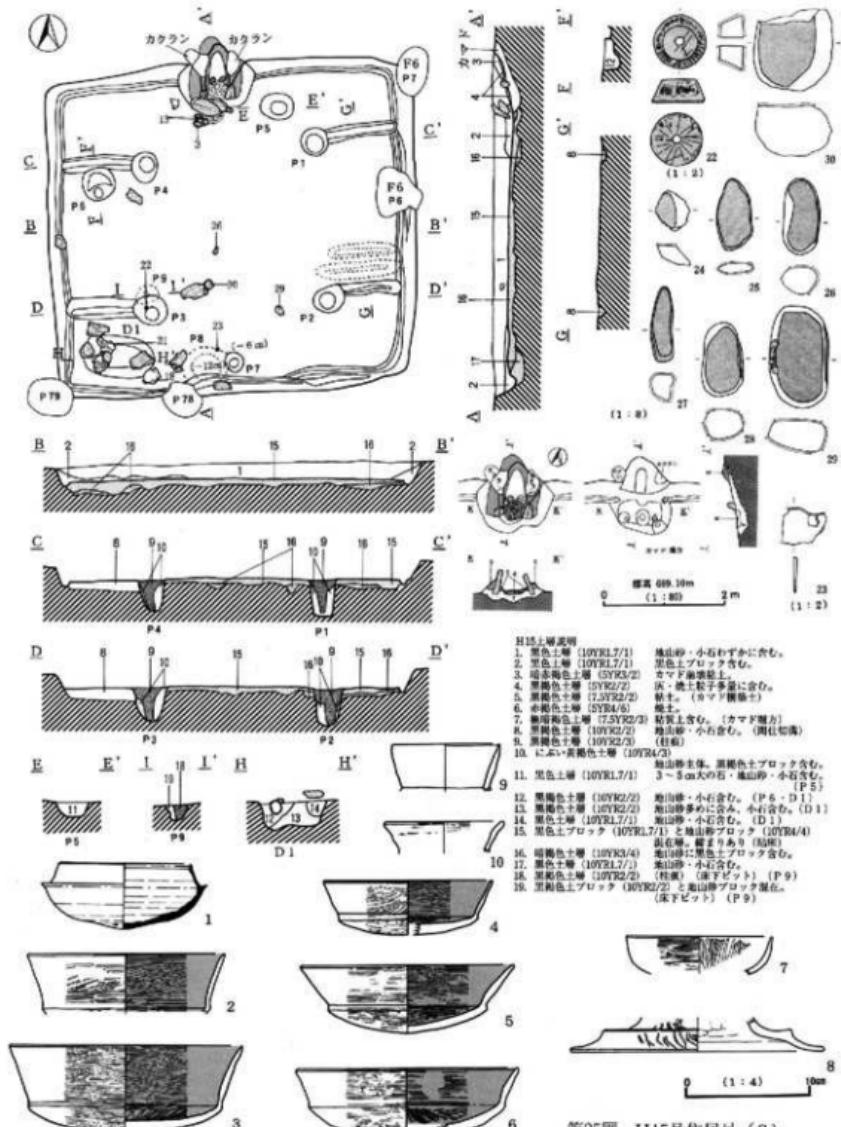
(23頁につづく)

H14

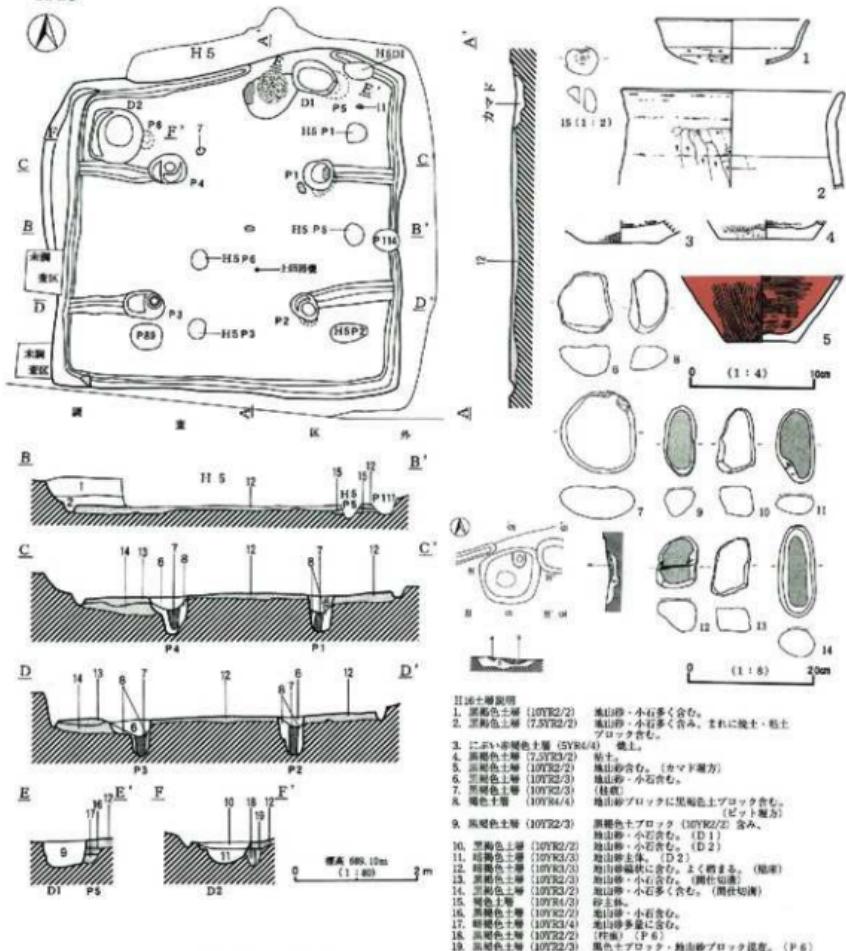


H15





第25図 H15号住居址（2）



第26図 H16号住居址

古墳後期の土器を出土し、周溝が円形で全周する。S 9・S 10・S17の3基がある。

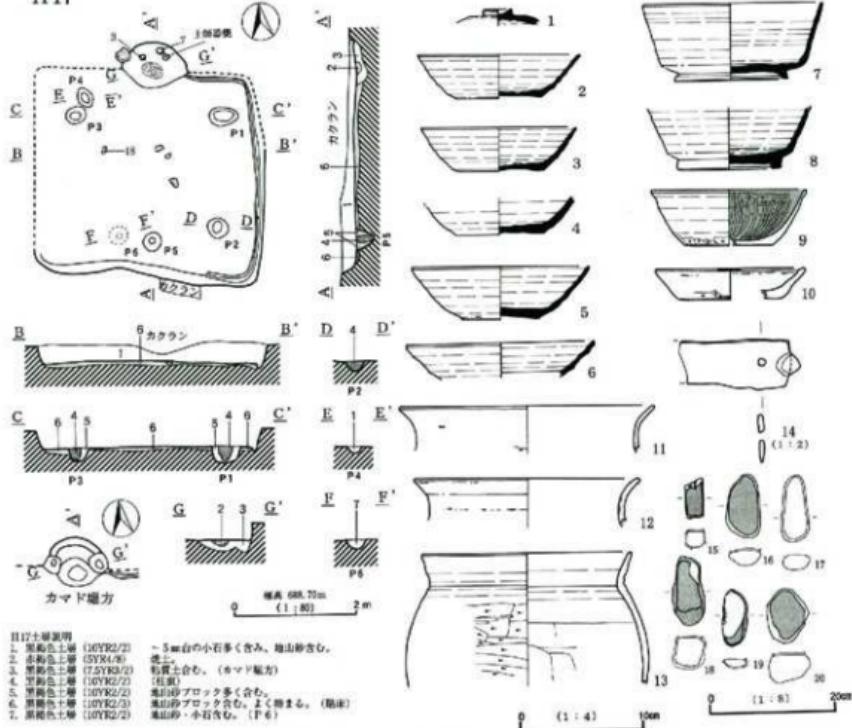
全長推定1600~3536cm、溝幅最大200~800cm

古墳後期後葉（7C後半）の土器群出土し、周溝が一カ所切れる、S 1・S 6・1号墳もある。

全長1168~1850cm、溝幅最大270~336cm

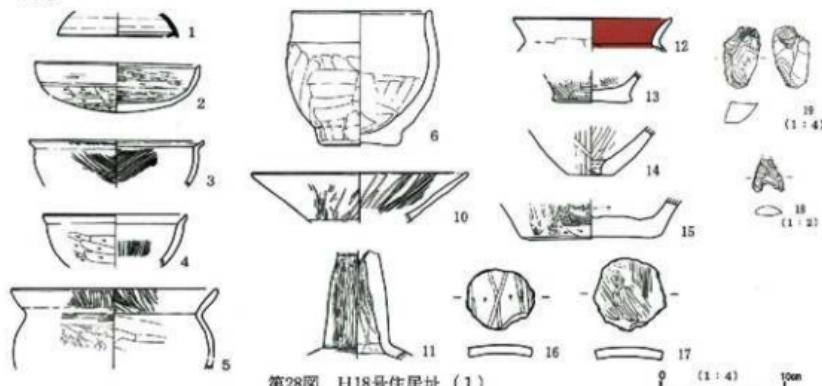
これらの北西久保遺跡の周溝に比べ、本道路西一本木遺跡Ⅳは全長594~680cm、溝幅60~122cmとどの時期と比較しても小規模である。2kmほど北にある円正坊道路Ⅱ（1997『円正坊Ⅱ』）のO T 1がやはり古墳後期で全長820cm溝幅（31頁につづく）

H17



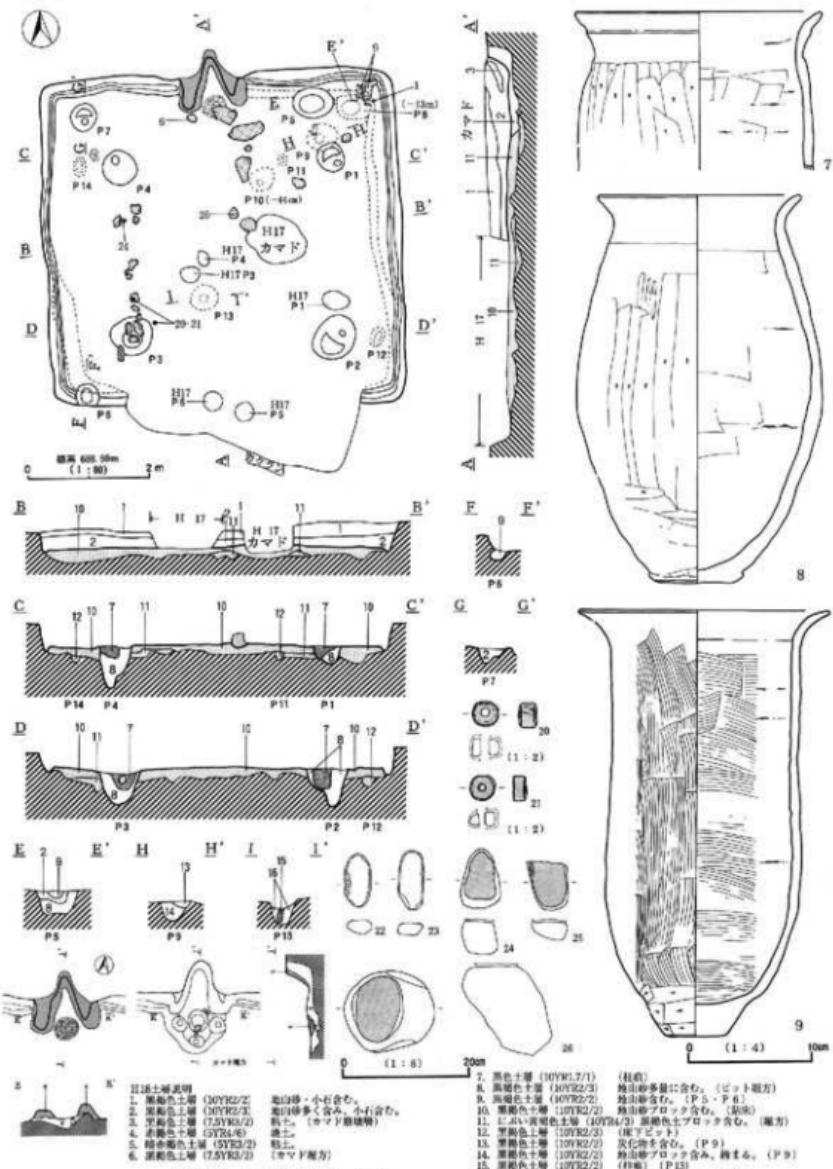
第27図 H17号住居址

H18



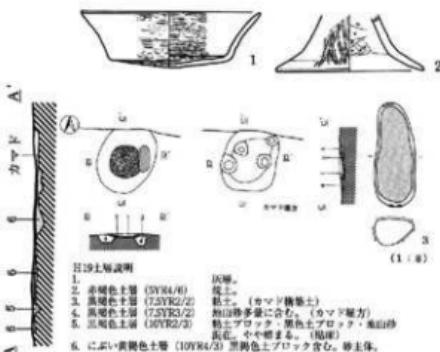
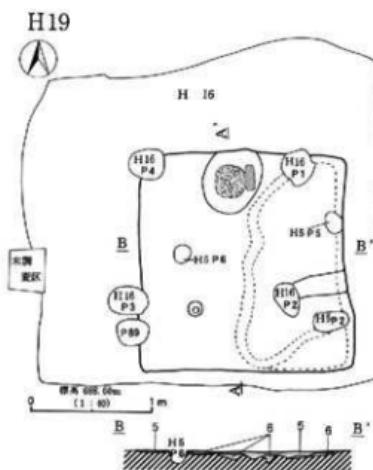
第28図 H18号住居址 (1)

H18

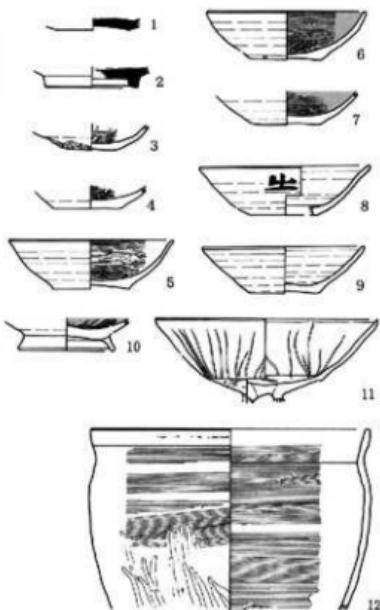
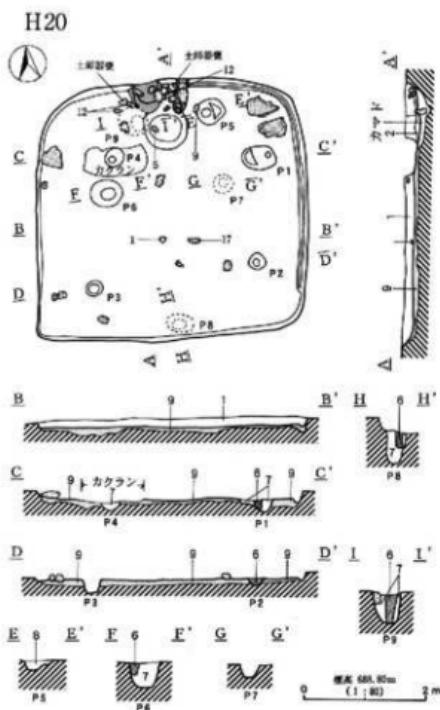


第29図 H18号住居址（2）

(粗面)
地山部多量に含む。(ピット感方)
地山部含む。(P 5・P 6)
地山部プロック含む。(點狀)
4/3 地盤色土プロック含む。(感方)
(底下ピット)
炭化物を含む。(P 9)
地山部プロック含み、緻まる。(P 9)
(生土) (P 13)
地山部多量に含む。(P 13)



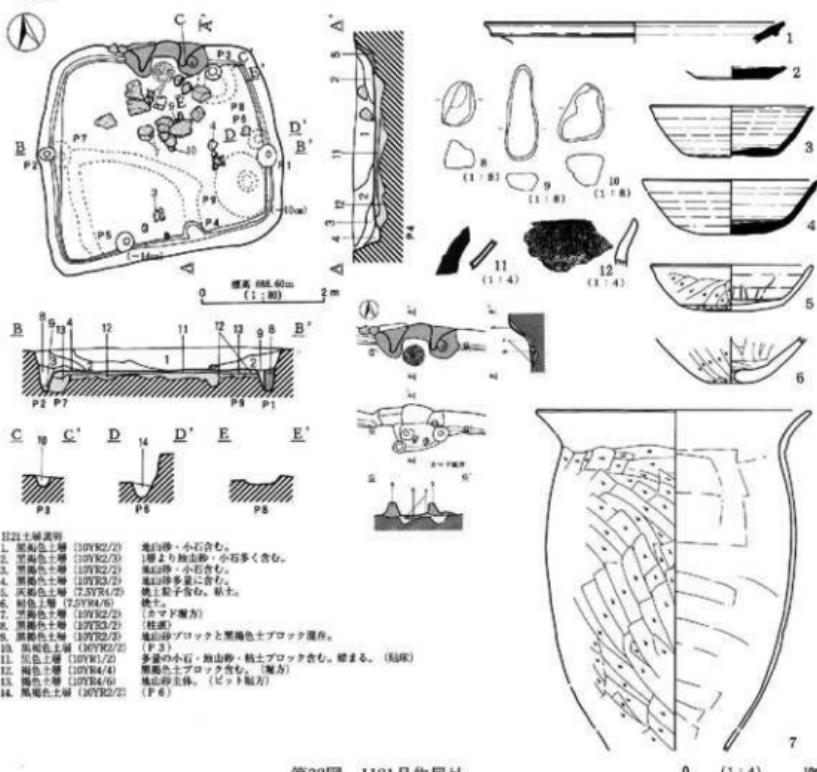
第30図 H19号住居址





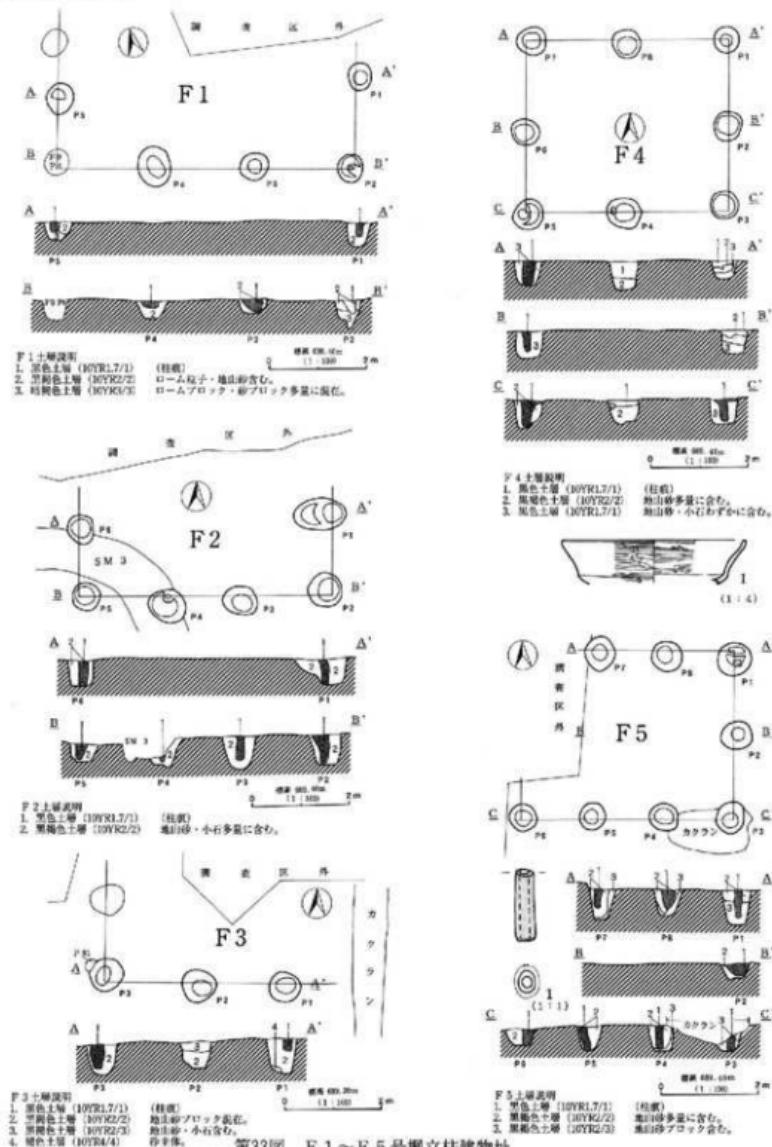
第31図 H20号住居址

H21

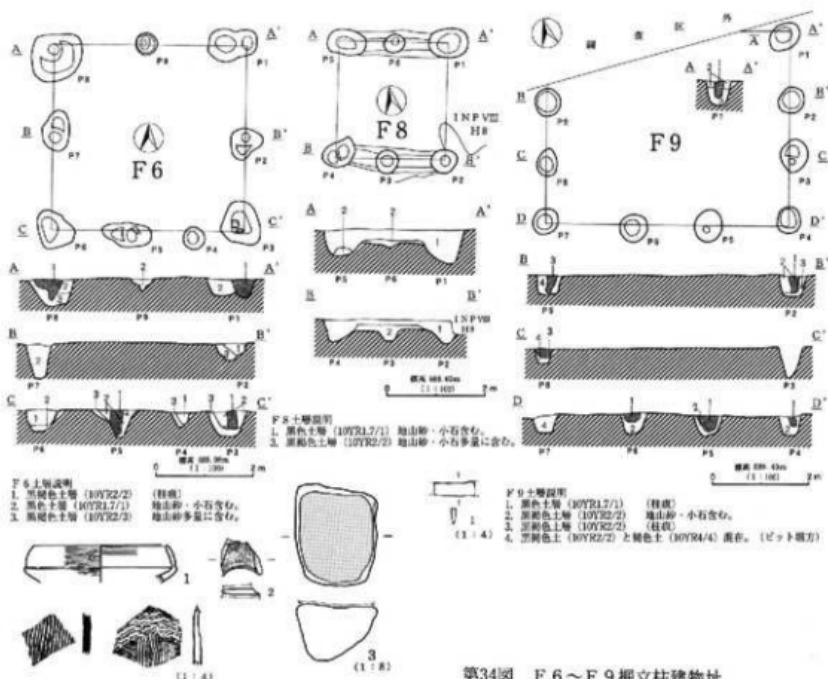


第32図 H21号住居址

掘立柱建物址

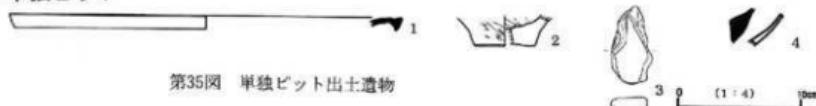


第33図 F 1 ~ F 5 号掘立柱建物址

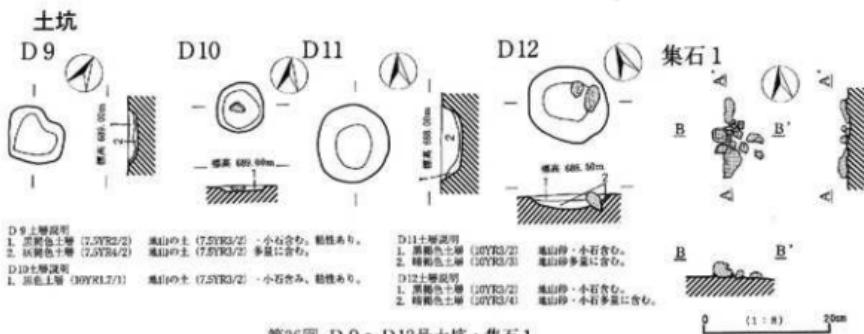


第34図 F 6～F 9 掘立柱建物址

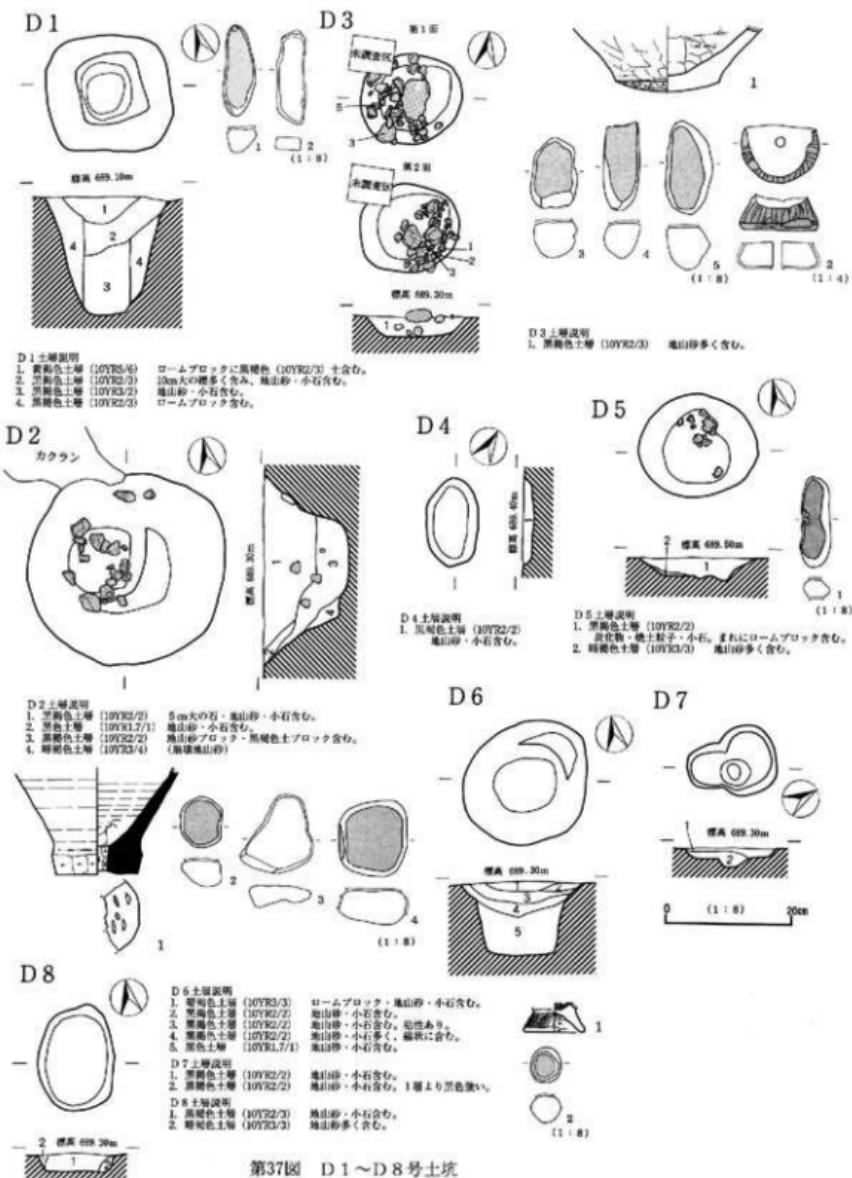
単独ピット



第35図 単独ピット出土遺物



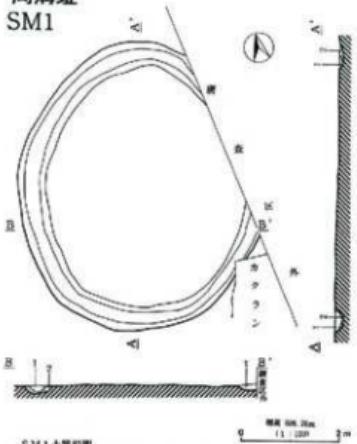
第36図 D 9～D 12号土坑・集石 1



第37図 D 1～D 8 号土坑

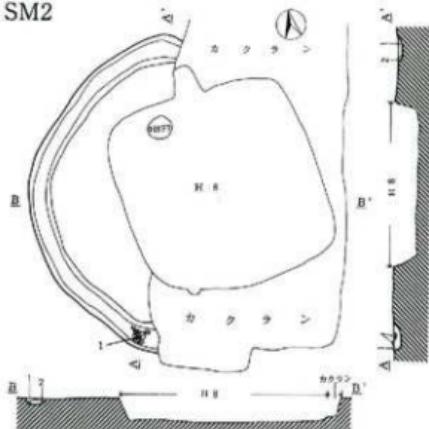
周溝址

SM1



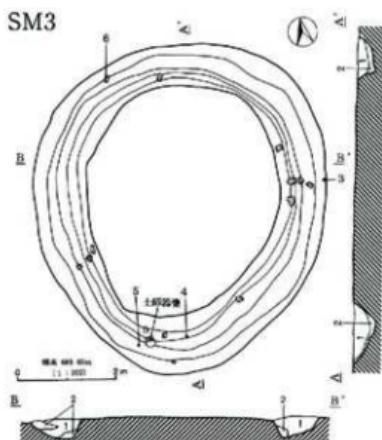
SM1 土溝断面
1. 黒褐色土層 (10YR1.7/1)
2. 黑褐色土層 (10YR2.5/2) バニス含む。
地山砂・小石含む。

SM2

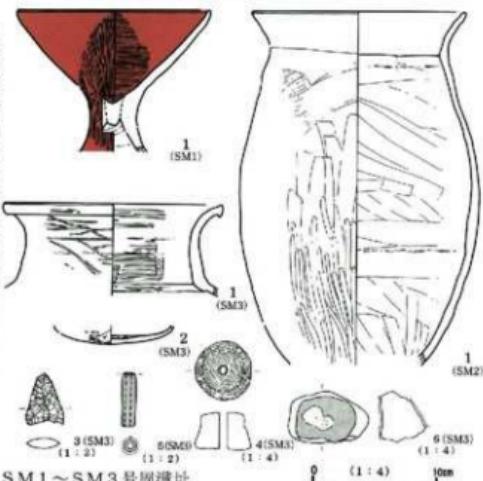


SM2 土溝断面
1. 黒褐色土層 (10YR1.3/1)
2. 黑褐色土層 (10YR2.5/2) 泥山砂・小石含む。
泥山砂多く含む。

SM3



SM3 土溝断面
1. 黒褐色土層 (10YR2.2)
2. 黒褐色土層 (10YR2.5) 泥山砂・小石含む。
泥山砂多く含む。

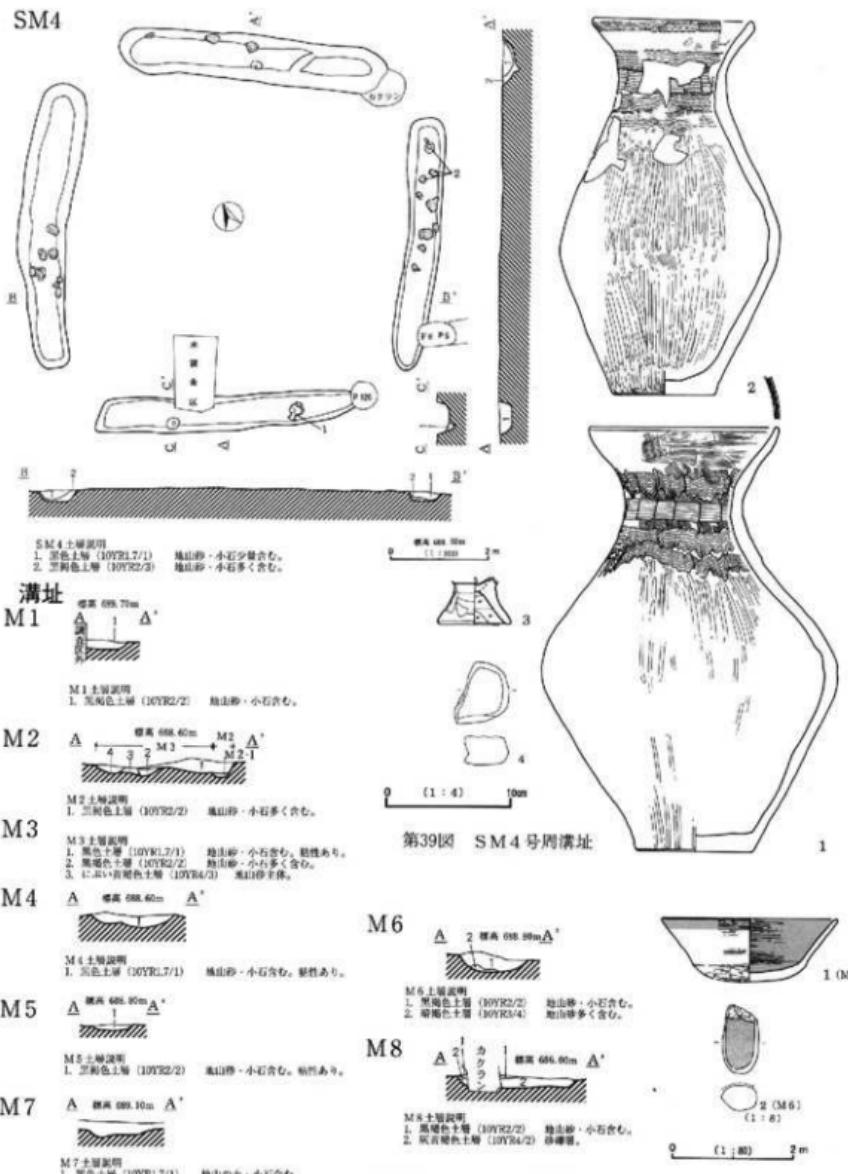


第38図 SM1～SM3号周溝址

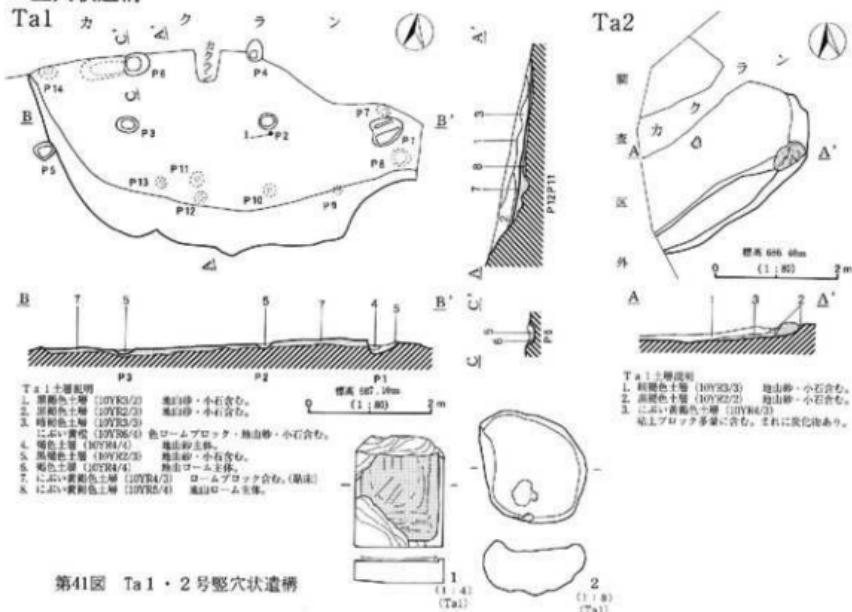
75cmとやや近い数値である。周溝の規模の大小に時間差があるとすれば、本遺跡SM3の該期は規模・遺物から古墳後期中業（6C後半）であろうか。

弥生中期の四隅の切れる方形周溝SM4は最大で860cm、溝幅110cmを測る。やはり北にある円正坊遺跡IV（2002「円正坊IV」）において検出された弥生時代後期のSM3・SM11は全長1490・1526cm、溝幅162・172cmを測る。比較すると本遺跡の方が規模が小さい。弥生中期から後期にかけて大規模化したのであろうか。

(33頁につづく)

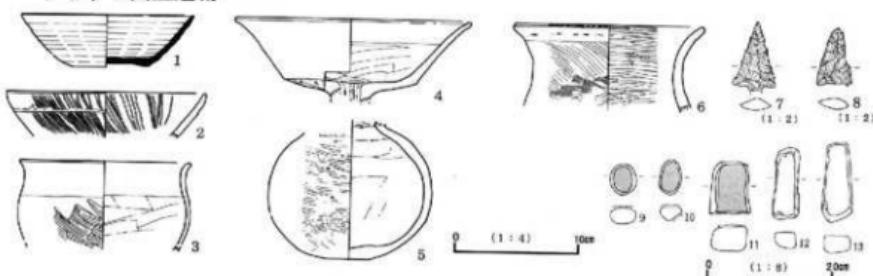


豎穴状遺構



第41図 Ta1・2号豎穴状遺構

グリッド出土遺物

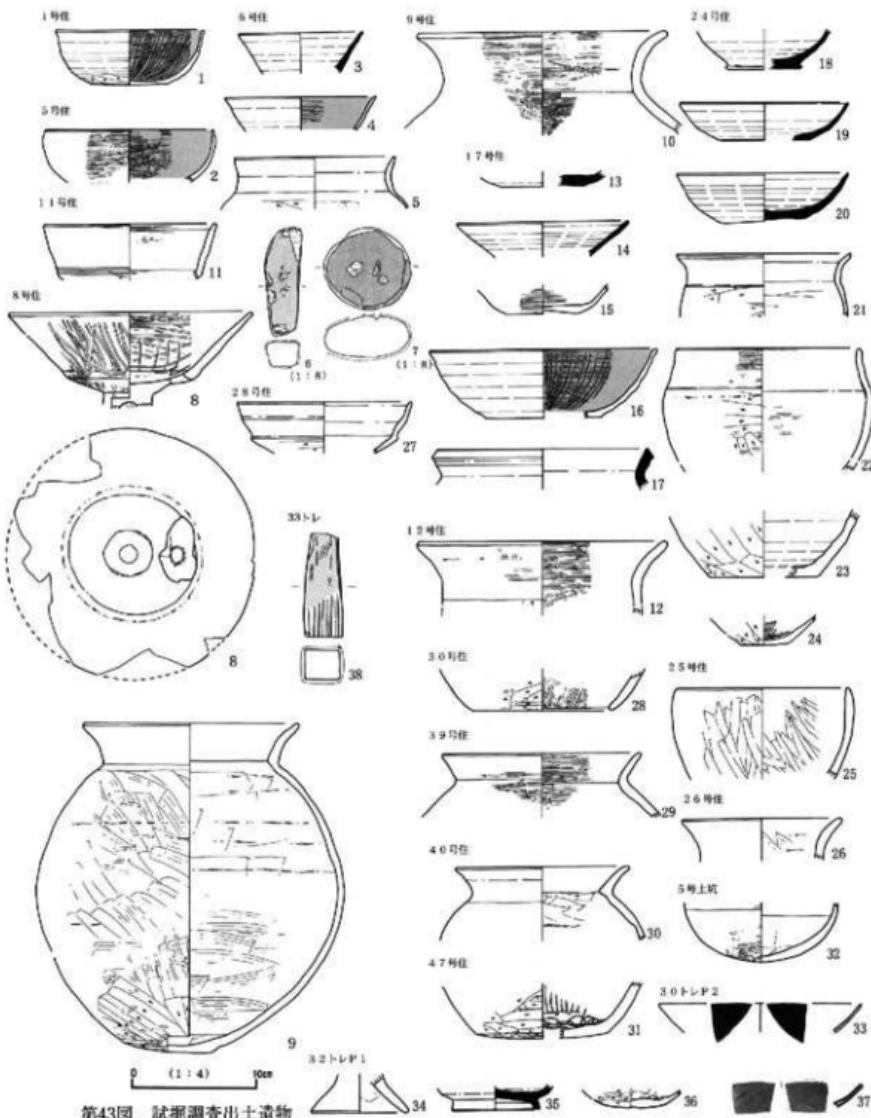


第42図 グリッド出土遺物

引用参考文献

- 1981 田辺昭三『須恵器大成』角川書店
- 1981 中村 浩『和泉陶邑窯の研究』柏吉房
- 1984 佐久市教育委員会「北西の久保」—北西の久保遺跡第1次発掘調査報告書
- 1987 佐久県文化財センター「北西の久保」—南部台地上の調査—(2次調査)
- 1997 佐久市教育委員会「円正坊遺跡II」
- 2002 佐久市教育委員会「円正坊遺跡IV」
- 2003 佐久市教育委員会「一本梅遺跡群西一本梅遺跡Ⅳ」

試掘調査出土遺物



第43図 試掘調査出土遺物

西一本柳遺跡（INPIX）遺構一覽表

地図									
地図番号									
D.1	J-2.4	方舟	268	188	194	N-78° - W	ナガラ、川を切る。谷底に砂質の河床。落葉林が生えている。	1 H-3	33×48×10 横開き
D.2	F-8	山頂	162	148	38	N-88° - W	山頂は砂質の河床。落葉林が生えている。	2 H-3	40×39×10 横開き
D.3	H-7	山頂	142	66	16	N-47° - W	山頂は砂質の河床。落葉林が生えている。	3 H-3	33×48×10 横開き
D.4	H-9.2	山頂	172	30	37	N-77° - W	山頂は砂質の河床。落葉林が生えている。	4 H-3	37×22×23 横開き
D.5	H-7	山頂	208	95	36	N-88° - W	山頂は砂質の河床。落葉林が生えている。	5 H-3	38×24×24 横開き
D.6	H-2	山頂	143	112	32	N-18° - E	山頂は砂質の河床。落葉林が生えている。	6 H-3	31×21×7 横開き
D.7	H-2	山頂	136	84	32	N-14° - E	山頂は砂質の河床。落葉林が生えている。	7 H-3	22×22×22 横開き
D.8	H-6	山頂	116	88	15	N-89° - W	山頂は砂質の河床。落葉林が生えている。	8 H-3	21×7×7 横開き
D.9	K-2.3	山頂	112	69	10	N-2° - E	山頂は砂質の河床。落葉林が生えている。	9 H-3	25×25×33 横開き
D.10	K-7.3	山頂	117	116	35	N-4° - E	山頂は砂質の河床。落葉林が生えている。	10 H-3	54×25×33 横開き
D.11	A-3.1	山頂	128	126	34	N-2° - E	山頂は砂質の河床。落葉林が生えている。	11 H-3	24×22×11 横開き
D.12	B-3.5	山頂	132	109	-	N-2° - W	山頂は砂質の河床。落葉林が生えている。	12 H-3	12×12×7 横開き
D.13	B-6.7	山頂	132	109	-	N-2° - W	山頂は砂質の河床。落葉林が生えている。	13 H-3	13×16×6 横開き
S.M.1	H-2.4	山頂	590	460	260	N-78° - W	山頂は砂質の河床。落葉林が生えている。	14 H-3	35×20×13 横開き
S.M.2	H-2.5	山頂	610	420	232	N-14° - E	山頂は砂質の河床。落葉林が生えている。	15 H-3	11×14×10 横開き
S.M.3	P-1.2	山頂	660	380	474	N-89° - W	山頂は砂質の河床。落葉林が生えている。	16 H-3	10×13×10 横開き
S.M.4	B-4.5	山頂	822	260	615	N-89° - W	山頂は砂質の河床。落葉林が生えている。	17 H-3	11×14×10 横開き
溝									
M.1	H-5.8	山頂	5740	34	60	7-17	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	18 H-3	10×13×10 横開き
M.2	H-2.4	山頂	590	300	60	7-16	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	19 H-3	10×13×10 横開き
M.3	H-2.5	山頂	610	270	60	8-14	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	20 H-3	10×13×10 横開き
M.4	L-3.4	山頂	660	380	474	7-12	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	21 H-3	10×13×10 横開き
M.5	L-3.4	山頂	822	260	615	10-26	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	22 H-3	10×13×10 横開き
M.6	K-3.5	山頂	8190	175	115	8-14	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	23 H-3	10×13×10 横開き
M.7	K-3.5	山頂	8193	163	115	8-14	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	24 H-3	10×13×10 横開き
M.8	O-1.3	山頂	8241	80	115	13-17	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	25 H-3	10×13×10 横開き
谷									
S.M.1	H-2.4	山頂	590	300	60	7-17	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	26 H-3	10×13×10 横開き
S.M.2	H-2.5	山頂	610	270	60	8-14	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	27 H-3	10×13×10 横開き
S.M.3	P-1.2	山頂	660	380	474	7-12	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	28 H-3	10×13×10 横開き
S.M.4	B-4.5	山頂	822	260	615	10-26	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	29 H-3	10×13×10 横開き
谷									
M.1	H-5.8	山頂	5740	34	60	7-17	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	30 H-3	10×13×10 横開き
M.2	H-2.4	山頂	590	300	60	8-14	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	31 H-3	10×13×10 横開き
M.3	H-2.5	山頂	610	270	60	8-14	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	32 H-3	10×13×10 横開き
M.4	L-3.4	山頂	660	380	474	7-12	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	33 H-3	10×13×10 横開き
M.5	L-3.4	山頂	822	260	615	10-26	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	34 H-3	10×13×10 横開き
M.6	K-3.5	山頂	8193	175	115	8-14	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	35 H-3	10×13×10 横開き
M.7	K-3.5	山頂	8190	163	115	8-14	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	36 H-3	10×13×10 横開き
M.8	O-1.3	山頂	8241	80	115	13-17	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	37 H-3	10×13×10 横開き
谷									
S.M.1	H-2.4	山頂	590	300	60	7-17	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	38 H-3	10×13×10 横開き
S.M.2	H-2.5	山頂	610	270	60	8-14	斜面は砂質の河床。谷底には砂質の河床がある。	39 H-3	10×13×10 横開き

三

西一本柳X遺物一覽表

H 3号住居

H 4号住居址

H 5号住處

16号住居址

学年	姓	名	性別	年齢	学年	姓	名	性別	年齢	学年	
1	高	登	男	(14)	2	川	村	女	(14)	3	D
2	高	登	女	(14)	3	川	村	男	(14)	4	井
3	高	登	男	(15)	4	川	村	女	(15)	5	井
4	土	田	高	(16)	5	川	村	男	(16)	6	井
5	土	田	高	(16)	6	川	村	女	(16)	7	井
7	土	田	高	(16)	8	川	村	男	(16)	9	井
8	土	田	高	(16)	9	川	村	女	(16)	10	井
10	土	田	高	(16)	11	川	村	男	(16)	12	井
11	川	村	高	(17)	12	川	村	女	(17)	13	井
13	川	村	高	(17)	14	川	村	男	(17)	15	井
15	川	村	高	(17)	16	川	村	女	(17)	17	井
17	川	村	高	(17)	18	川	村	男	(17)	19	井
19	川	村	高	(17)	20	川	村	女	(17)	21	井
21	川	村	高	(17)	22	川	村	男	(17)	23	井
23	川	村	高	(17)	24	川	村	女	(17)	25	井
25	川	村	高	(17)	26	川	村	男	(17)	27	井
27	川	村	高	(17)	28	川	村	女	(17)	29	井
29	川	村	高	(17)	30	川	村	男	(17)	31	井
31	川	村	高	(17)	32	川	村	女	(17)	33	井
33	川	村	高	(17)	34	川	村	男	(17)	35	井
35	川	村	高	(17)	36	川	村	女	(17)	37	井
37	川	村	高	(17)	38	川	村	男	(17)	39	井
39	川	村	高	(17)	40	川	村	女	(17)	41	井
41	川	村	高	(17)	42	川	村	男	(17)	43	井
43	川	村	高	(17)	44	川	村	女	(17)	45	井
45	川	村	高	(17)	46	川	村	男	(17)	47	井
47	川	村	高	(17)	48	川	村	女	(17)	49	井
49	川	村	高	(17)	50	川	村	男	(17)	51	井
51	川	村	高	(17)	52	川	村	女	(17)	53	井
53	川	村	高	(17)	54	川	村	男	(17)	55	井
55	川	村	高	(17)	56	川	村	女	(17)	57	井
57	川	村	高	(17)	58	川	村	男	(17)	59	井
59	川	村	高	(17)	60	川	村	女	(17)	61	井
61	川	村	高	(17)	62	川	村	男	(17)	63	井
63	川	村	高	(17)	64	川	村	女	(17)	65	井
65	川	村	高	(17)	66	川	村	男	(17)	67	井
67	川	村	高	(17)	68	川	村	女	(17)	69	井
69	川	村	高	(17)	70	川	村	男	(17)	71	井
71	川	村	高	(17)	72	川	村	女	(17)	73	井
73	川	村	高	(17)	74	川	村	男	(17)	75	井
75	川	村	高	(17)	76	川	村	女	(17)	77	井
77	川	村	高	(17)	78	川	村	男	(17)	79	井
79	川	村	高	(17)	80	川	村	女	(17)	81	井
81	川	村	高	(17)	82	川	村	男	(17)	83	井
83	川	村	高	(17)	84	川	村	女	(17)	85	井
85	川	村	高	(17)	86	川	村	男	(17)	87	井
87	川	村	高	(17)	88	川	村	女	(17)	89	井
89	川	村	高	(17)	90	川	村	男	(17)	91	井
91	川	村	高	(17)	92	川	村	女	(17)	93	井
93	川	村	高	(17)	94	川	村	男	(17)	95	井
95	川	村	高	(17)	96	川	村	女	(17)	97	井
97	川	村	高	(17)	98	川	村	男	(17)	99	井
99	川	村	高	(17)	100	川	村	女	(17)	101	井
101	川	村	高	(17)	102	川	村	男	(17)	103	井
103	川	村	高	(17)	104	川	村	女	(17)	105	井
105	川	村	高	(17)	106	川	村	男	(17)	107	井
107	川	村	高	(17)	108	川	村	女	(17)	109	井
109	川	村	高	(17)	110	川	村	男	(17)	111	井
111	川	村	高	(17)	112	川	村	女	(17)	113	井
113	川	村	高	(17)	114	川	村	男	(17)	115	井
115	川	村	高	(17)	116	川	村	女	(17)	117	井
117	川	村	高	(17)	118	川	村	男	(17)	119	井
119	川	村	高	(17)	120	川	村	女	(17)	121	井
121	川	村	高	(17)	122	川	村	男	(17)	123	井
123	川	村	高	(17)	124	川	村	女	(17)	125	井
125	川	村	高	(17)	126	川	村	男	(17)	127	井
127	川	村	高	(17)	128	川	村	女	(17)	129	井
129	川	村	高	(17)	130	川	村	男	(17)	131	井
131	川	村	高	(17)	132	川	村	女	(17)	133	井
133	川	村	高	(17)	134	川	村	男	(17)	135	井
135	川	村	高	(17)	136	川	村	女	(17)	137	井
137	川	村	高	(17)	138	川	村	男	(17)	139	井
139	川	村	高	(17)	140	川	村	女	(17)	141	井
141	川	村	高	(17)	142	川	村	男	(17)	143	井
143	川	村	高	(17)	144	川	村	女	(17)	145	井
145	川	村	高	(17)	146	川	村	男	(17)	147	井
147	川	村	高	(17)	148	川	村	女	(17)	149	井
149	川	村	高	(17)	150	川	村	男	(17)	151	井
151	川	村	高	(17)	152	川	村	女	(17)	153	井
153	川	村	高	(17)	154	川	村	男	(17)	155	井
155	川	村	高	(17)	156	川	村	女	(17)	157	井
157	川	村	高	(17)	158	川	村	男	(17)	159	井
159	川	村	高	(17)	160	川	村	女	(17)	161	井
161	川	村	高	(17)	162	川	村	男	(17)	163	井
163	川	村	高	(17)	164	川	村	女	(17)	165	井
165	川	村	高	(17)	166	川	村	男	(17)	167	井
167	川	村	高	(17)	168	川	村	女	(17)	169	井
169	川	村	高	(17)	170	川	村	男	(17)	171	井
171	川	村	高	(17)	172	川	村	女	(17)	173	井
173	川	村	高	(17)	174	川	村	男	(17)	175	井
175	川	村	高	(17)	176	川	村	女	(17)	177	井
177	川	村	高	(17)	178	川	村	男	(17)	179	井
179	川	村	高	(17)	180	川	村	女	(17)	181	井
181	川	村	高	(17)	182	川	村	男	(17)	183	井
183	川	村	高	(17)	184	川	村	女	(17)	185	井
185	川	村	高	(17)	186	川	村	男	(17)	187	井
187	川	村	高	(17)	188	川	村	女	(17)	189	井
189	川	村	高	(17)	190	川	村	男	(17)	191	井
191	川	村	高	(17)	192	川	村	女	(17)	193	井
193	川	村	高	(17)	194	川	村	男	(17)	195	井
195	川	村	高	(17)	196	川	村	女	(17)	197	井
197	川	村	高	(17)	198	川	村	男	(17)	199	井
199	川	村	高	(17)	200	川	村	女	(17)	201	井
201	川	村	高	(17)	202	川	村	男	(17)	203	井
203	川	村	高	(17)	204	川	村	女	(17)	205	井
205	川	村	高	(17)	206	川	村	男	(17)	207	井
207	川	村	高	(17)	208	川	村	女	(17)	209	井
209	川	村	高	(17)	210	川	村	男	(17)	211	井
211	川	村	高	(17)	212	川	村	女	(17)	213	井
213	川	村	高	(17)	214	川	村	男	(17)	215	井
215	川	村	高	(17)	216	川	村	女	(17)	217	井
217	川	村	高	(17)	218	川	村	男	(17)	219	井
219	川	村	高	(17)	220	川	村	女	(17)	221	井
221	川	村	高	(17)	222	川	村	男	(17)	223	井
223	川	村	高	(17)	224	川	村	女	(17)	225	井
225	川	村	高	(17)	226	川	村	男	(17)	227	井
227	川	村	高	(17)	228	川	村	女	(17)	229	井
229	川	村	高	(17)	230	川	村	男	(17)	231	井
231	川	村	高	(17)	232	川	村	女	(17)	233	井
233	川	村	高	(17)	234	川	村	男	(17)	235	井
235	川	村	高	(17)	236	川	村	女	(17)	237	井
237	川	村	高	(17)	238	川	村	男	(17)	239	井
239	川	村	高	(17)	240	川	村	女	(17)	241	井
241	川	村	高	(17)	242	川	村	男	(17)	243	井
243	川	村	高	(17)	244	川	村	女	(17)	245	井
245	川	村	高	(17)	246	川	村	男	(17)	247	井
247	川	村	高	(17)	248	川	村	女	(17)	249	井
249	川	村	高	(17)	250	川	村	男	(17)	251	井
251	川	村	高	(17)	252	川	村	女	(17)	253	井
253	川	村	高	(17)	254	川	村	男	(17)	255	井
255	川	村	高	(17)	256	川	村	女	(17)	257	井
257	川	村	高	(17)	258	川	村	男	(17)	259	井
259	川	村	高	(17)	260	川	村	女	(17)	261	井
261	川	村	高	(17)	262	川	村	男	(17)	263	井
263	川	村	高	(17)	264	川	村	女	(17)	265	井
265	川	村	高	(17)	266	川	村	男	(17)	267	井
267	川	村	高	(17)	268	川	村	女	(17)	269	井
269	川	村	高	(17)	270	川	村	男	(17)	271	井
271	川	村	高	(17)	272	川	村	女	(17)	273	井
273	川	村	高	(17)	274	川	村	男	(17)	275	井
275	川	村	高	(17)	276	川	村	女	(17)	277	井
277	川	村	高	(17)	278	川	村	男	(17)	279	井
279	川	村	高	(17)	280	川	村	女	(17)	281	井
281	川	村	高	(17)	282	川	村	男	(17)	283	井
283	川	村	高	(17)	284	川	村	女	(17)	285	

30	海苔(1)	11.6	6.6	3.6	300							1.4	
31	海苔(1)	13.6	6.5	2.9	280							1.4	
32	海苔(1)	12.3	5.4	2.7	280							1.4	
33	海苔(1)	11.0	5.7	4.1	280							1.4	
	海苔(1)											1.4	

H 7号住居址

1	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	(16.0)	11.0	4.1									

H 8号住居址

1	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	(11.2)	—	(2.6)									
2	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	(28.4)	6.7	(6.3)									
3	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	(8.6)	—	(4.1)									
4	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	(24.3)	—	(4.1)									
5	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	3.1	(2.4)	(1.0)									
6	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	11.2	5.7	4.2									

H 9号住居址

1	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	(9.8)	—	(1.7)									
2	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	(29.2)	—	(5.7)									
3	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	(10.5)	—	(7.8)									
4	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	0.9	—	(0.9)									
5	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	11.0	6.2	1.9									

H 10号住居址

1	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	(11.3)	—	(4.0)									
2	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	(12.0)	—	(4.7)									
3	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	2.3	—	1.6	0.35	2.2							

H 12号住居址

1	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	(11.3)	—	(4.0)									
2	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	(18.0)	—	(4.7)									
3	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	(19.2)	—	(9.8)									
4	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	6.1	—	1.1									
5	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	(7.3)	—	5.6	1.6	2.0							
6	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	3.4	—	1.6	0.4	2.2							
7	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	4.17	—	1.4	0.2	0.5							

H 13号住居址

1	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	(17.6)	—	(6.6)									
2	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	(11.0)	—	(4.7)									
3	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	(11.4)	—	(4.7)									
4	三重県 伊勢市 二の浦町 1丁目 1番地 1号室	(12.2)	—	(4.9)									

H14号住居址

四庫全書

H17号住院处

H18号住居址

番号	地名	面積	間取	構造	年月	主な特徴
1	白石町 通	—	(100.0)	—	4.0	ロクナナデ
2	白石町 通	—	(14.4)	—	(3.8)	ロクナナデ 木造二階建 木造二階建
3	白石町 通	—	(18.0)	—	(4.3)	ロクナナデ 木造二階建 木造二階建
4	白石町 通	—	(18.0)	—	(6.5)	ロクナナデ 木造二階建 木造二階建
5	白石町 通	—	(17.0)	—	(11.0)	ロクナナデ 木造二階建 木造二階建
6	白石町 通	—	(11.4)	—	(6.9)	ロクナナデ 木造二階建 木造二階建
7	白石町 通	—	(20.3)	—	(13.1)	ロクナナデ 木造二階建 木造二階建
8	白石町 通	—	(18.7)	—	(31.8)	ロクナナデ 木造二階建 木造二階建
9	白石町 通	—	(20.6)	(4.6)	(36.0)	ロクナナデ 木造二階建 木造二階建
10	白石町 会所	—	(17.8)	—	(4.1)	ロクナナデ 木造二階建 木造二階建
11	白石町 小屋裏	—	(13.0)	—	(8.9)	ロクナナデ 木造二階建 木造二階建
12	白石町 小屋裏	—	(13.0)	—	(8.6)	ロクナナデ 木造二階建 木造二階建
13	白石町 小屋裏	—	(13.0)	—	(6.6)	ロクナナデ 木造二階建 木造二階建
14	白石町 小屋裏	—	(13.0)	—	(4.0)	ロクナナデ 木造二階建 木造二階建
15	白石町 小屋裏	—	(11.5)	(3.2)	(36.0)	ロクナナデ 木造二階建 木造二階建
26	上野町 横	—	5.0	—	2.5	ヘタナナデ 木造一階建 木造一階建
27	十郎町 横	—	6.0	—	3.4	ヘタナナデ 木造一階建 木造一階建
28	不動	—	(1.3)	—	1.2	ヘタナナデ 木造一階建 木造一階建
29	スクレババ	—	5.0	—	3.0	ヘタナナデ 木造一階建 木造一階建
30	スクレババ	—	1.0	—	0.5	ヘタナナデ 木造一階建 木造一階建
21	白石町	—	1.0	—	0.5	ヘタナナデ 木造一階建 木造一階建
22	白石町	—	8.9	—	4.4	ヘタナナデ 木造一階建 木造一階建
23	白石町	—	9.9	—	4.2	ヘタナナデ 木造一階建 木造一階建
24	白石町	—	9.9	—	5.4	ヘタナナデ 木造一階建 木造一階建
25	白石町	—	(8.0)	—	6.7	ヘタナナデ 木造一階建 木造一階建
26	スリム	—	(13.3)	—	(14.7)	ヘタナナデ 木造一階建 木造一階建

H19号住居址

番号	地名	面積	間取	構造	年月	主な特徴
1	二郎町 通	—	(14.8)	—	(9.4)	ロクナナデ 木造二階建 木造二階建
2	二郎町 通	—	(16.8)	—	(12.2)	ロクナナデ 木造二階建 木造二階建

H20号住居址

番号	地名	面積	間取	構造	年月	主な特徴
1	白石町 通	—	—	6.0	(0.9)	ロクナナデ
3	白石町 通	—	—	3.6	(2.3)	ロクナナデ 木造一階建 木造一階建
4	白石町 通	—	—	5.7	(1.9)	ロクナナデ 木造一階建 木造一階建
5	白石町 通	—	—	4.0	(1.6)	ロクナナデ 木造一階建 木造一階建
6	白石町 通	—	—	5.8	4.0	ロクナナデ 木造一階建 木造一階建
7	白石町 通	—	—	5.6	(2.8)	ロクナナデ 木造一階建 木造一階建
8	白石町 通	—	—	5.8	(1.1)	ロクナナデ 木造一階建 木造一階建
9	白石町 通	—	—	5.8	3.9	ロクナナデ 木造一階建 木造一階建
10	白石町 通	—	—	8.0	(2.7)	ロクナナデ 木造一階建 木造一階建

H21号住居址

独立遺物社・単独ヒット

七

180		180		180		180		180		180		180	
品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種
1 トマト 番外	(16.0)	—	(114.3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1 トマト 番外	(17.6)	—	(29.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1 トマト 番外	(16.0)	—	(7.5)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2 トマト 番外	6.1	—	9.8	(1.5)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3 トマト 番外	4.5	—	1.5	0.4	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—
4 トマト 番外	2.6	—	2.6	3.1	0.1	90.7	—	—	—	—	—	—	—
5 トマト 番外	2.2	—	8.3	7.2	8.0	—	—	—	—	—	—	—	—
6 トマト 番外	13.1	—	15.6	9.5	34.9	—	—	—	—	—	—	—	—
1 トマト 番外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2 トマト 番外	12.3	—	8.5	31.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3 トマト 番外	—	—	6.6	(3.9)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4 トマト 番外	10.2	—	8.5	4.5	6.0	—	—	—	—	—	—	—	—

溝状造構

180		180		180		180		180		180		180	
品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種
1 ブリーチ 番外	(16.4)	—	(9.2)	5.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2 スリガ	—	(11.3)	—	3.9	4.1	350	—	—	—	—	—	—	—

豎穴状造構

180		180		180		180		180		180		180	
品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種
1 トマト 番外	(11.2)	—	6.1	4.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2 土蔵型 番外	(16.4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3 トマト 番外	(14.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4 トマト 番外	19.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5 トマト 番外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6 トマト 番外	(15.6)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7 トマト 番外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8 トマト 番外	(2.8)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9 トマト 番外	2.3	—	1.4	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10 トマト 番外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11 トマト 番外	8.7	—	6.7	4.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12 トマト 番外	11.8	—	6.1	2.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13 トマト 番外	13.0	—	5.0	2.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—

グリット

180		180		180		180		180		180		180	
品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種	品種
1 トマト 番外	(11.2)	—	6.1	4.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2 土蔵型 番外	(16.4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3 トマト 番外	(14.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4 トマト 番外	19.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5 トマト 番外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6 トマト 番外	(15.6)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7 トマト 番外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8 トマト 番外	(2.8)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9 トマト 番外	2.3	—	1.4	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10 トマト 番外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11 トマト 番外	8.7	—	6.7	4.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12 トマト 番外	11.8	—	6.1	2.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13 トマト 番外	13.0	—	5.0	2.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—

卷之三



H-1号住居址（南より）



H-1号住居址カマド場方（東より）



H-1号住居址遺物出土状況



H-1号住居址カマド（東より）



H-1号住居址場方（南より）



H 2号住居址 (南より)



H 2号住居址 (西より)



H 2号住居址 Kamado (南より)



H 2号住居址 堀方 (東より)



H 2号住居址 Kamado 堀方 (南より)



H 3号住居址 (南より)



H 3号住居址 (西より)



H 3号住居址 (南より)



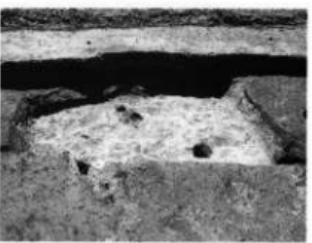
H 3号住居址カマド (東より)



H 4号住居址 (北より)



H 4号住居址 (東より)



H 4号住居址壁面 (北より)



H 5号住居址（南より）



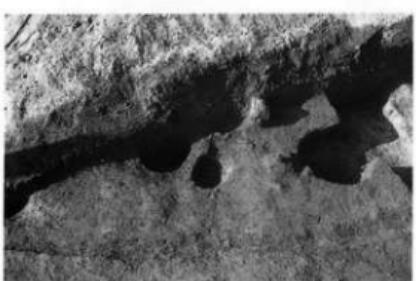
H 5号住居址遺物出土状況（西より）



H 5号住居址掘方（北より）



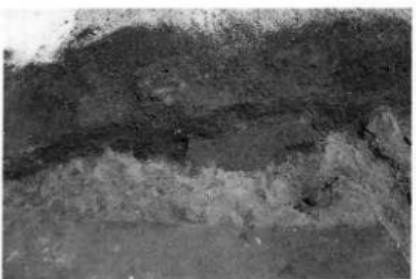
H 5号住居址カマド（西より）



H 7号住居址（南より）



H 9号住居址（東より）



H 7号住居址掘方（南より）



H 9号住居址掘方（東より）



H 6号住居址（西より）



H 6号住居址カマド（南より）



H 6号住居址掘方（北東より）



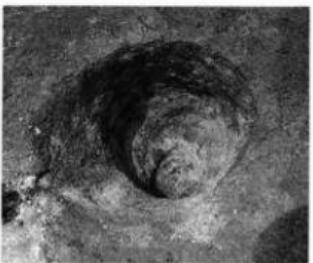
H 6号住居址カマド掘方（南より）



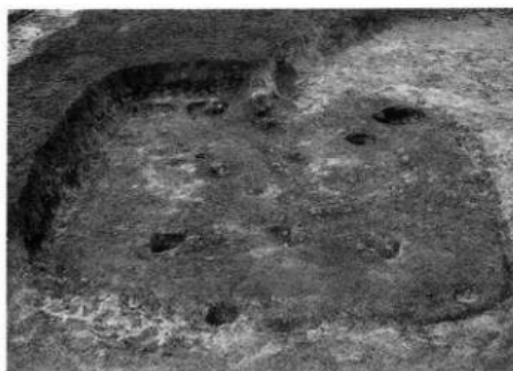
H 6号住居址掘方（北より）



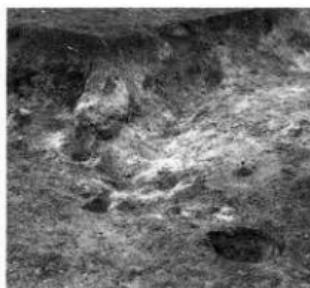
H 6号住居址P 3（北より）



H 6号住居址P 4（西より）



H 8号住居址（南より）



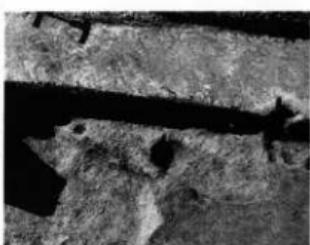
H 8号住居址カマド掘方（南より）



H 8号住居址掘方（東より）



H 10号住居址（北より）



H 10号住居址掘方（北より）



H 11号住居址（南より）



H 11号住居址掘方（南より）



H12号住居址（南より）



H12号住居址（西より）



H12号住居址堀方（西より）



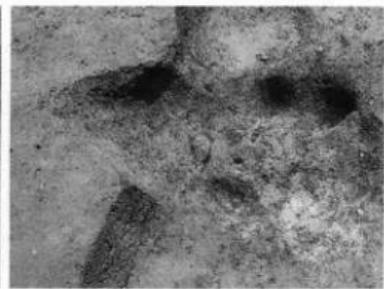
H13号住居址（西より）



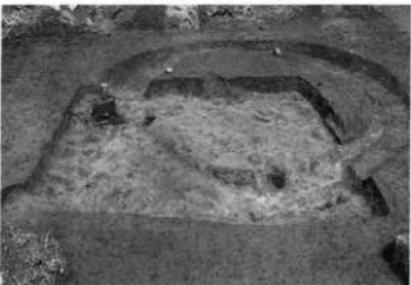
H13号住居址カマド袖石と支脚（東より）



H13号住居址カマド（南より）



H13号住居址カマド堀方（西より）



H13号住居址堀方（南より）



H14号住居址（北より）



H 15号住居址（東より）



H 15号住居址D 1 遺物出土状況（北より）



H 15号住居址（南より）



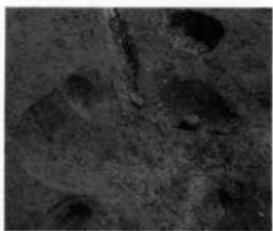
H 15号住居址P 3 炭鉢車（南より）



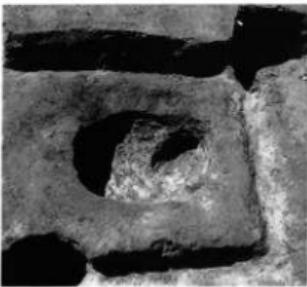
H 15号住居址カマド（南より）



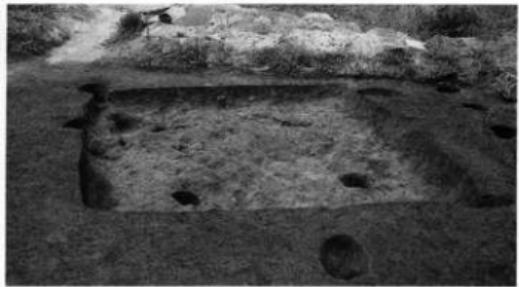
H 15号住居址カマド（東より）



H 15号住居址カマド堀方（西より）



H 15号住居址D 1（北より）



H 15号住居址堀方（南より）



H17号住居址（東より）



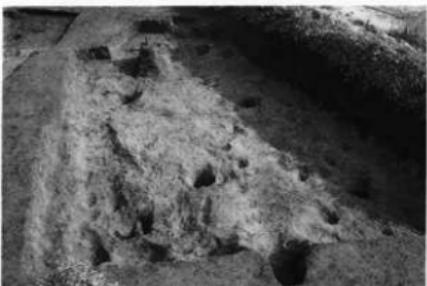
H17号住居址堀方（東より）



H18号住居址（北より）



H18号住居址カマド（南より）



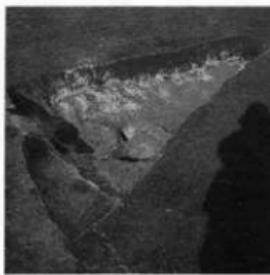
H18号住居址堀方（北より）



H18号住居址出土遺物（毫）



H17・H18号住居址（東より）



H17・H18号住居址堀方（東より）



H18号住居址カマド（南より）



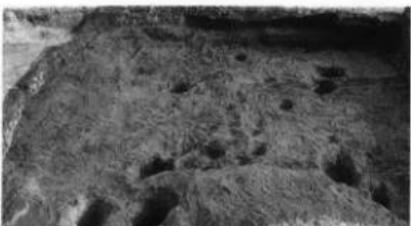
H16号住居址（南より）



H16号住居址（東より）



H16号住居址堀方（東より）



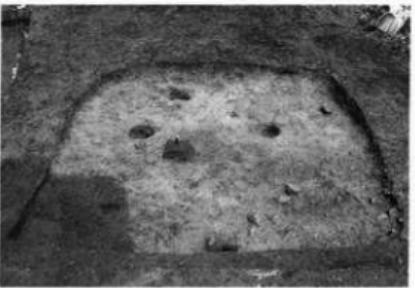
H19号住居址堀方（北より）



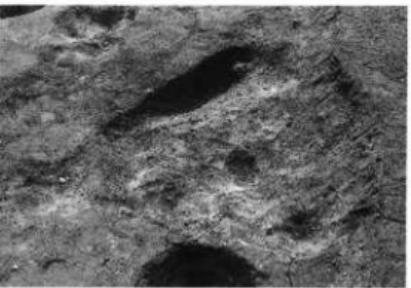
H20号住居址（東より）



H20号住居址カマド（南より）



H20号住居址堀方（南より）



H20号住居址カマド堀方（東より）



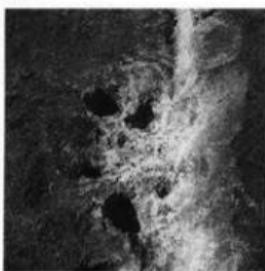
H21号住居址（南より）



H21号住居址（東より）



H21号住居址カマド（東より）



H21号住居址カマド掘方（東より）



H21号住居址掘方（東より）



T a 1号堅穴状遺構（南より）



T a 1号堅穴状遺構（南東より）



T a 1・2号堅穴状遺構（南東より）



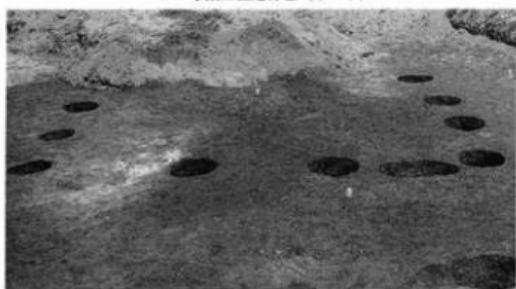
T a 2号堅穴状遺構（北より）



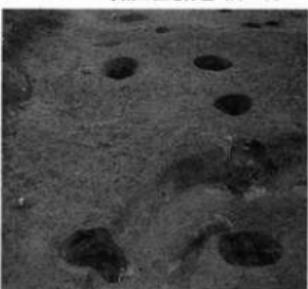
F 1号掘立柱建物址（東より）



F 9・F 1号掘立柱建物址（西より）



F 9号掘立柱建物址（南より）



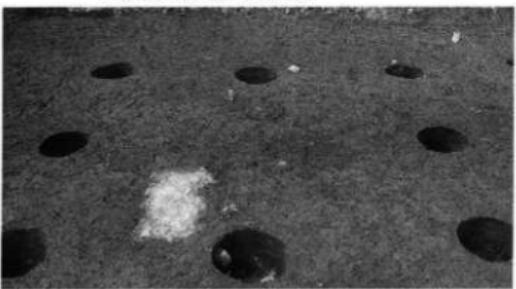
F 2号掘立柱建物址（西より）



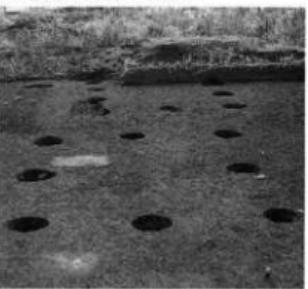
F 3号掘立柱建物址（南より）



F 5号掘立柱建物址（南より）



F 4号掘立柱建物址（南より）



F 4・F 5号掘立柱建物址（東より）



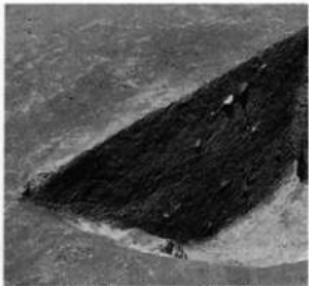
F6号掘立柱建物址（北より）



F8号掘立柱建物址（南西より）



F9号掘立柱建物址（南より）



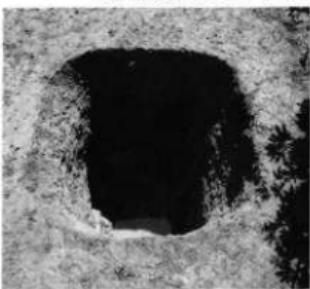
D2号土坑セクション（南東より）



D1号土坑セクション（南より）



D2号土坑（南より）



D1号土坑（西より）



D2号土坑（南より）



D 3号土坑石出土状況（南より）



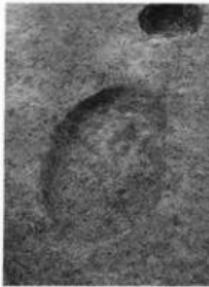
D 3号土坑遺物出土状況（南より）



D 3号土坑（南より）



D 4号土坑セクション（西より）



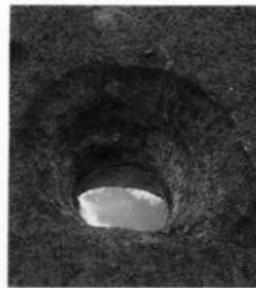
D 4号土坑（南より）



D 5号土坑セクション（南より）



D 6号土坑セクション（南より）



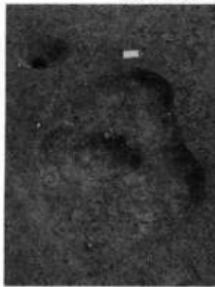
D 6号土坑（東より）



D 5号土坑（北より）



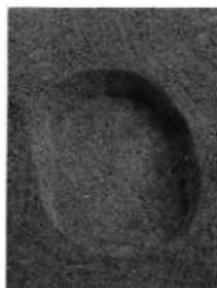
D 7号土坑セクション（北より）



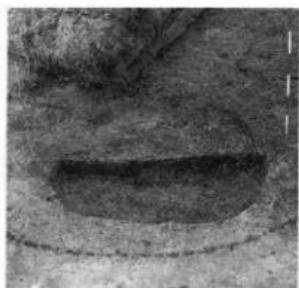
D 7号土坑（北より）



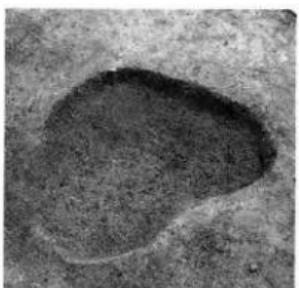
D 8号土坑セクション（南より）



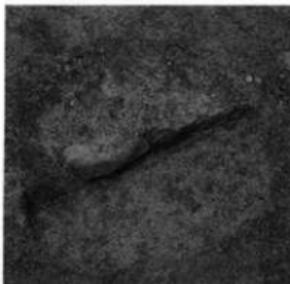
D8号土坑（北より）



D9号土坑セクション（南より）



D9号土坑（東より）



D10号土坑セクション（南より）



D10号土坑（南より）



D11号土坑（東より）



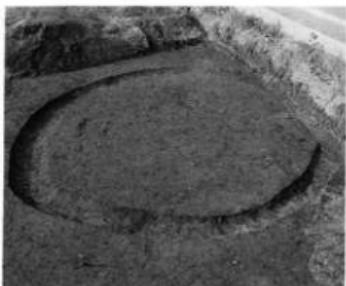
D12号土坑セクション（南より）



D12号土坑（西より）



集石1（西より）



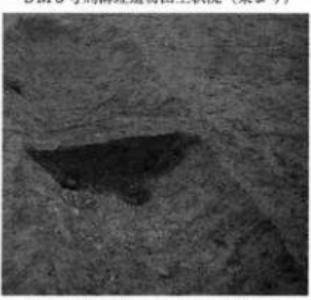
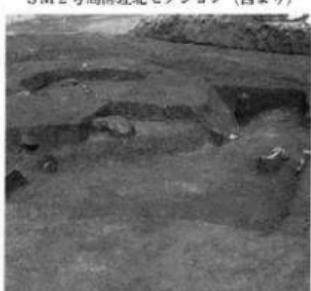
SM1号周溝址（南より）



SM1・2号周溝址遺跡（南西より）



SM1号周溝址（北より）

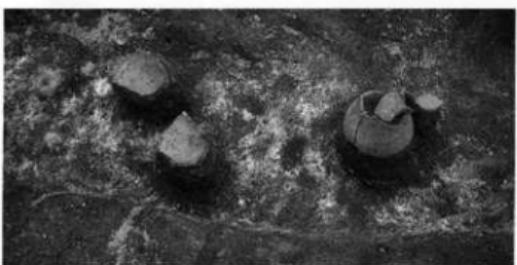




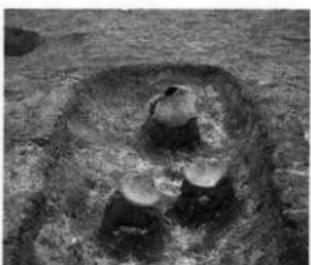
SM4号周溝址（南西より）



SM4号周溝址（東より）



SM4号周溝址遺物出土状況（東より）



SM4号周溝址（北より）



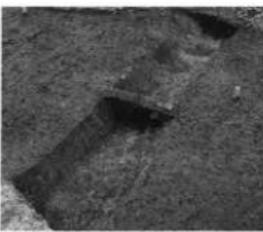
INPⅧM6号溝址（西より）



INPⅧM6号溝址（東より）



INP VIII M 1号溝址 (北より)



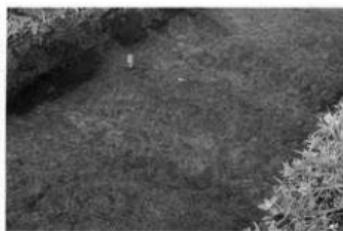
INP VIII M 3号溝址 (南より)



INP VIII M 7号溝址 (南より)



M 1号溝址 (北より)



M 2・M 3号溝址 (南西より)



M 5号溝址 (西より)



M 4号溝址最西端 (西より)



M 4号溝址東側 (西より)



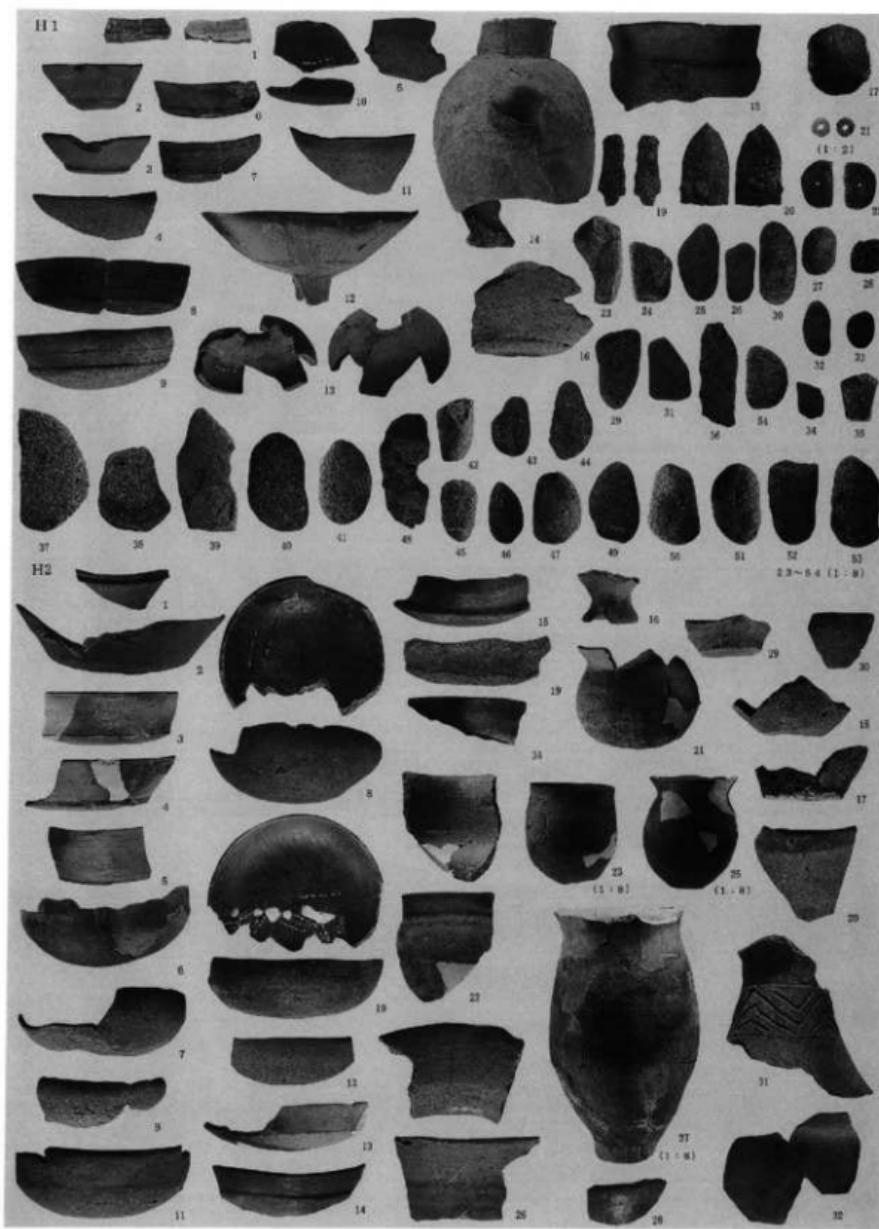
M 7号溝址 (東より)

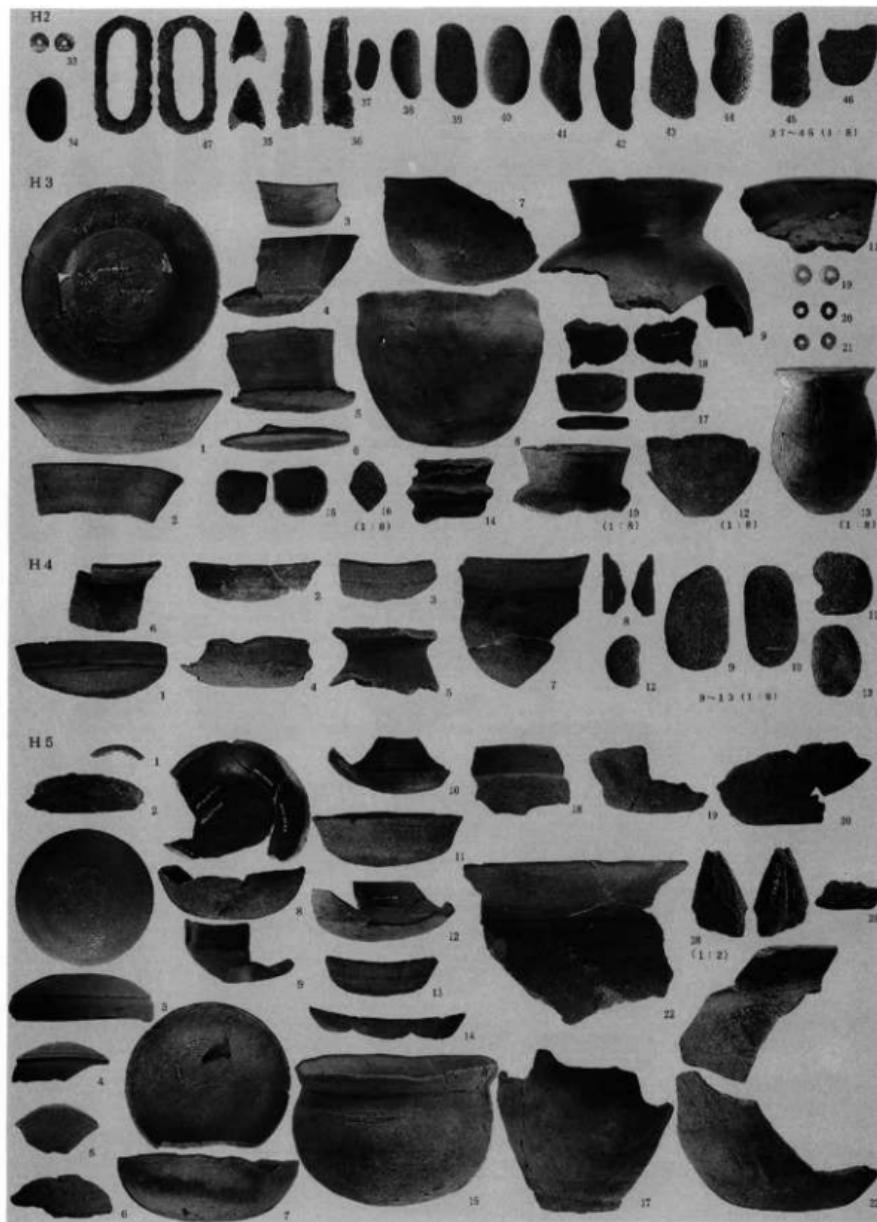


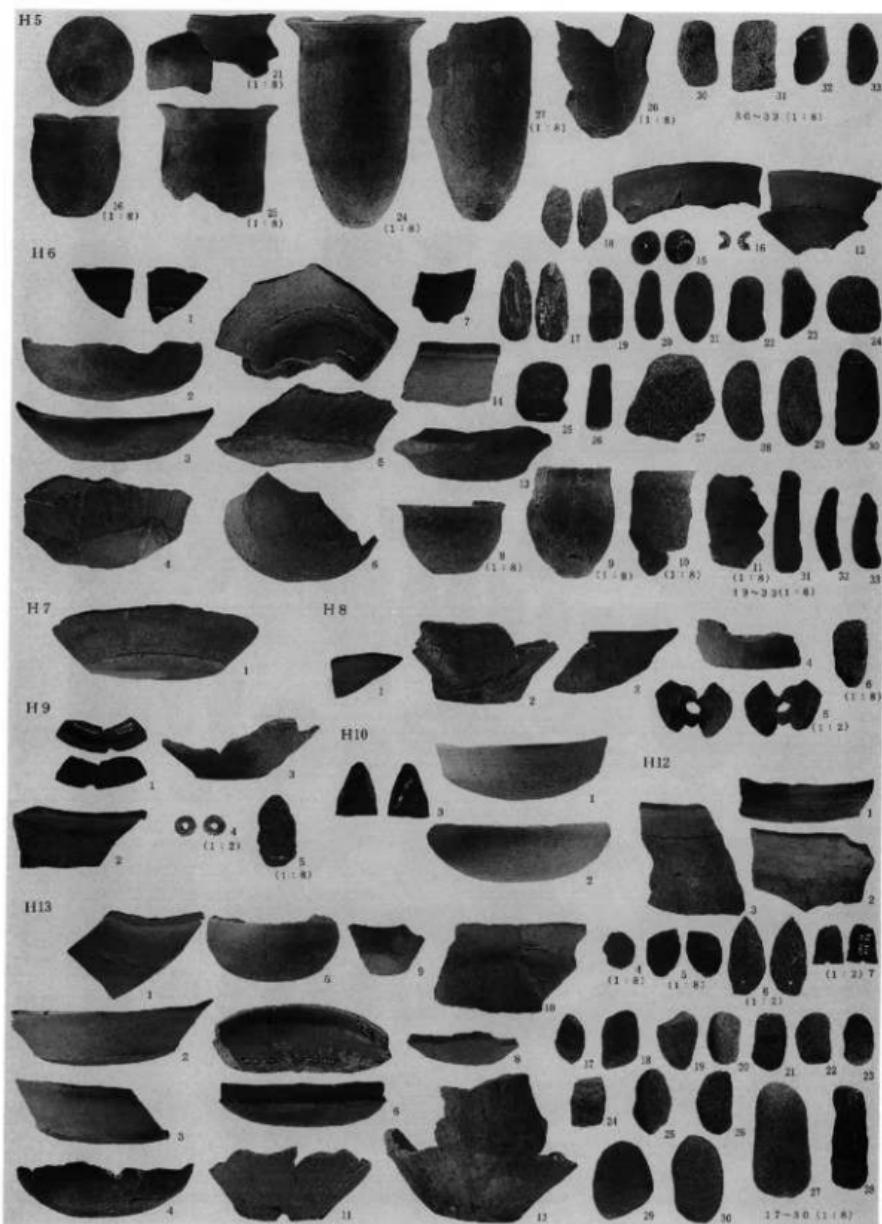
M 6号溝址 (西より)

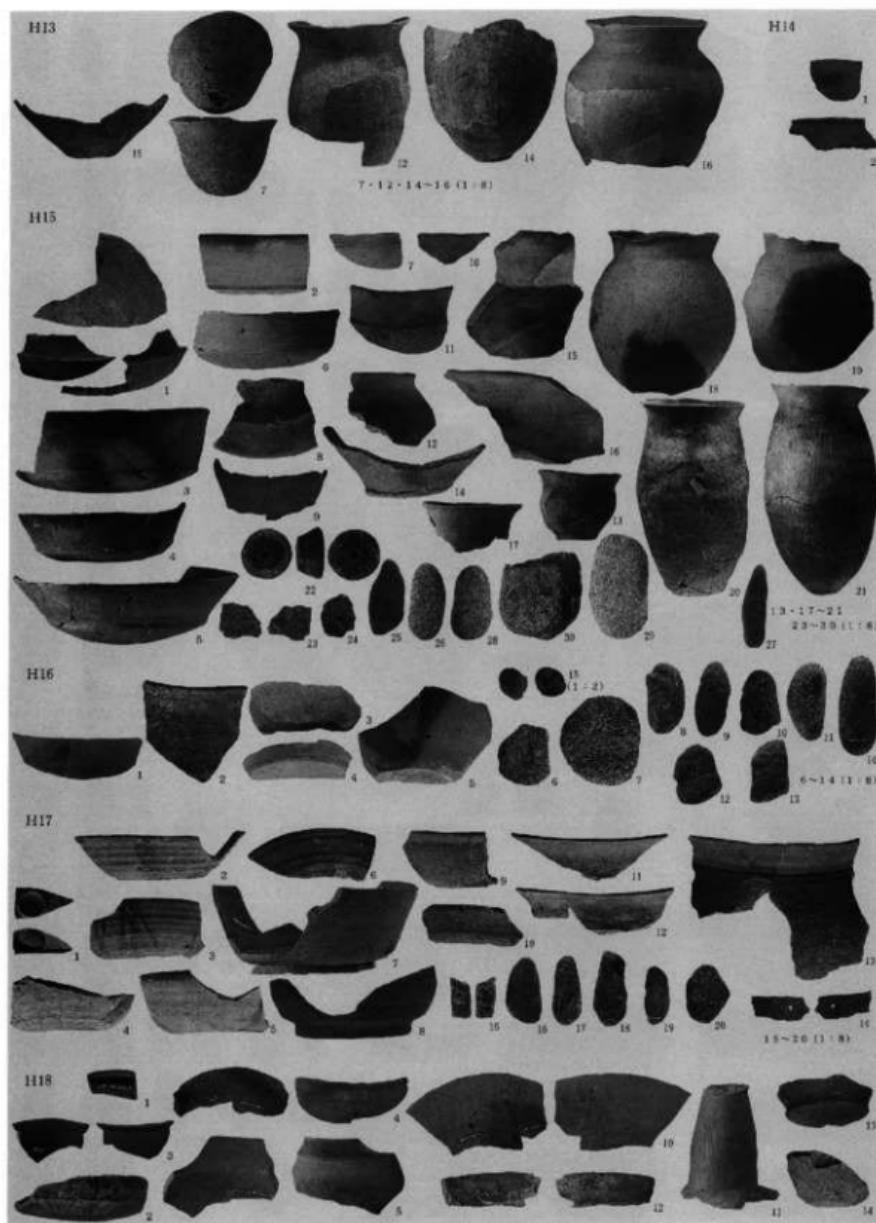


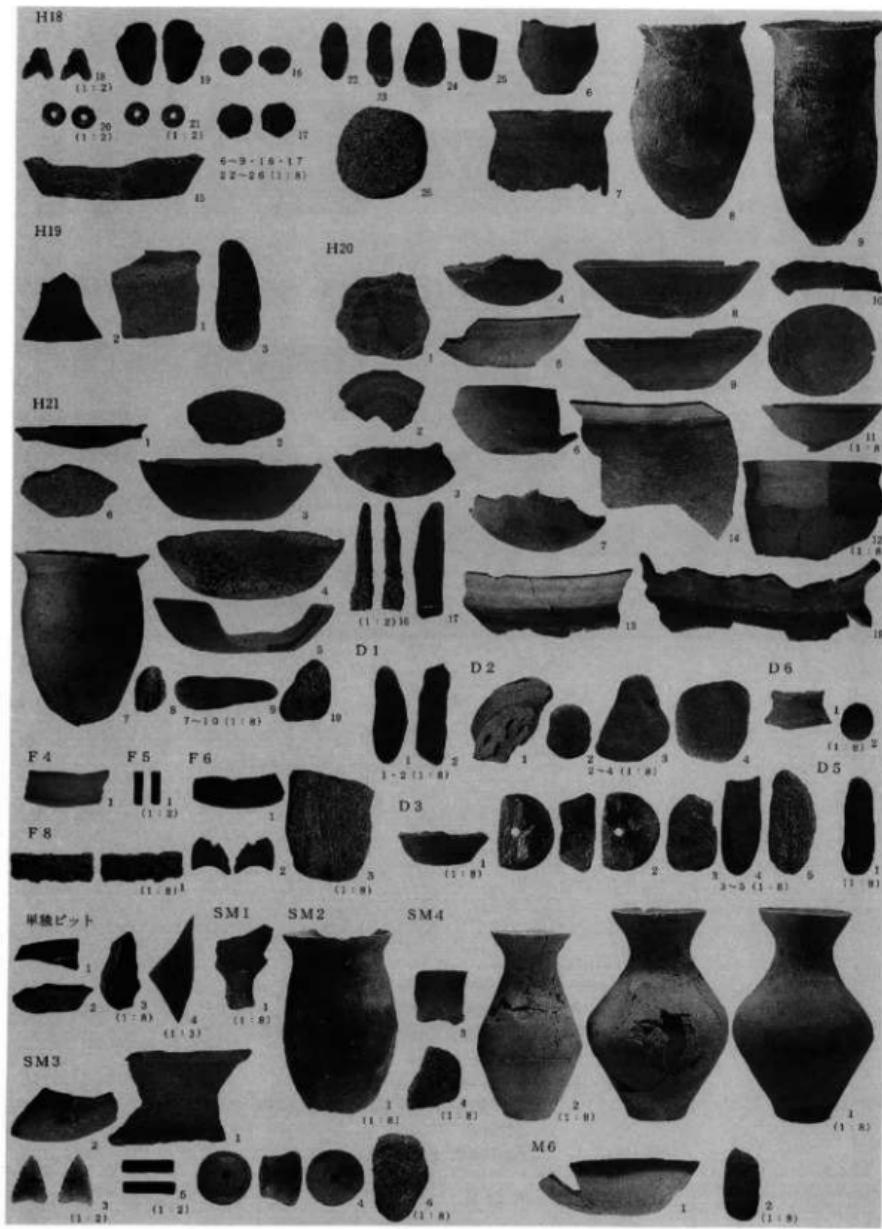
M 6号溝址 (東より)

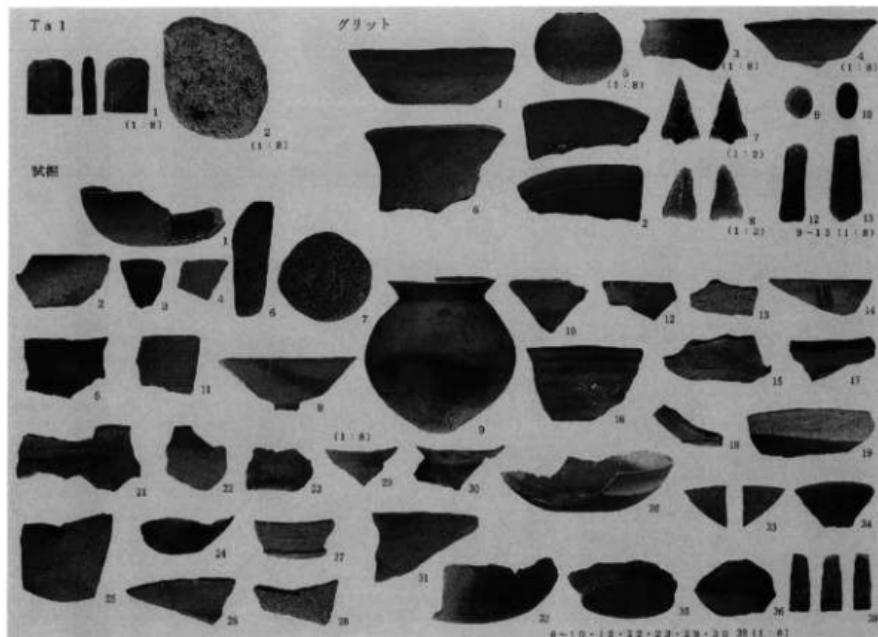












佐久市埋蔵文化財調査報告書

- | | | | |
|------|--------------------------|-------|---------------------------------|
| 第1集 | 『金井城跡』 | 第56集 | 『聖原遺跡X』 |
| 第2集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1990』 | 第57集 | 『高郷町遺跡II』 |
| 第3集 | 『石附窯址群III』 | 第58集 | 『下穴虫遺跡I』 |
| 第4集 | 『大ふけ』 | 第59集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1996』 |
| 第5集 | 『立科F遺跡』 | 第60集 | 『曾根城遺跡II』 |
| 第6集 | 『上曾根遺跡』 | 第61集 | 『削地遺跡』 |
| 第7集 | 『三貫畠遺跡』 | 第62集 | 『野馬久保遺跡II』 |
| 第8集 | 『濱の下遺跡』 | 第63集 | 『西大久保遺跡III』 |
| 第9集 | 『国道141号線関係遺跡』 | 第64集 | 『梨の木遺跡IV』 |
| 第10集 | 『聖原遺跡II』 | 第65集 | 『中宿遺跡』 |
| 第11集 | 『赤座塙外遺跡』 | 第66集 | 『中西ノ久保遺跡II・仲田遺跡・寺塚遺跡II』 |
| 第12集 | 『若宮遺跡II』 | 第67集 | 『供養塙遺跡』 |
| 第13集 | 『上高山遺跡II』 | 第68集 | 『前藤部遺跡』 |
| 第14集 | 『栗毛板遺跡』 | 第69集 | 『高山遺跡I・II』 |
| 第15集 | 『野馬久保遺跡』 | 第70集 | 『観音堂遺跡』 |
| 第16集 | 『石並城跡』 | 第71集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1997』 |
| 第17集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1991』(1月～3月) | 第72集 | 『市道遺跡II』 |
| 第18集 | 『西曾根遺跡』 | 第73集 | 『西一本柳遺跡III・IV』 |
| 第19集 | 『上芝宮遺跡』 | 第74集 | 『五里田遺跡』 |
| 第20集 | 『下聖塙遺跡III』 | 第75集 | 『八風山・五斗代』 |
| 第21集 | 『金井城跡III』 | 第76集 | 『南近津』 |
| 第22集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1991』 | 第77集 | 『番屋前遺跡』 |
| 第23集 | 『南上中原・南下中原遺跡』 | 第78集 | 『蛇塙遺跡・蛇塙古墳』 |
| 第24集 | 『上聖塙遺跡』 | 第79集 | 『四ツ塙遺跡I』 |
| 第25集 | 『上久保田向IV』 | 第80集 | 『四ツ塙遺跡II』 |
| 第26集 | 『藤塙古墳群・藤塙II』 | 第81集 | 『薬師寺遺跡』 |
| 第27集 | 『上久保田向III』 | 第82集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1998』 |
| 第28集 | 『曾根新城V』 | 第83集 | 『下聖塙遺跡IV』 |
| 第29集 | 『筒村遺跡B・山法師遺跡B』 | 第84集 | 『椎名平遺跡』 |
| 第30集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1992』 | 第85集 | 『柳室遺跡』 |
| 第31集 | 『山法師遺跡A・筒村遺跡A』 | 第86集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1999』 |
| 第32集 | 『東ノ割』 | 第87集 | 『宮添遺跡』 |
| 第33集 | 『聖原遺跡Ⅳ・下曾根遺跡I・前藤部遺跡II』 | 第88集 | 『下曾根遺跡』 |
| 第34集 | 『西一本柳遺跡I』 | 第89集 | 『川原端遺跡』 |
| 第35集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1993』 | 第90集 | 『梨の木遺跡III』 |
| 第36集 | 『蛇塙B遺跡III』 | 第91集 | 『西一本柳遺跡・中長塚I・II・松の木遺跡I・II』 |
| 第37集 | 『西一本柳遺跡II・中西ノ久保遺跡I』 | 第92集 | 『辻の前遺跡II・中仲田遺跡II』 |
| 第38集 | 『南下中原遺跡II』 | 第93集 | 『入高山遺跡』 |
| 第39集 | 『中屋敷遺跡』 | 第94集 | 『聖石遺跡』 |
| 第40集 | 『寺畠遺跡』 | 第95集 | 『市内遺跡発掘調査報告書2000』 |
| 第41集 | 『曾根新城遺跡I・II・III・IV・VI | 第96集 | 『上木戸遺跡』 |
| | 上久保田向遺跡I・II・V・VI・VII | 第97集 | 『久福添遺跡』 |
| | 西曾根遺跡II・III | 第98集 | 『深堀II・III・V』 |
| 第42集 | 『寄山I』 | 第99集 | 『中道遺跡』 |
| 第43集 | 『稚現平遺跡・池端遺跡』 | 第100集 | 『野沢館跡III』 |
| 第44集 | 『寺添遺跡』 | 第101集 | 『深堀遺跡IV』 |
| 第45集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1994』 | 第102集 | 『円正坊遺跡IV』 |
| 第46集 | 『渦り遺跡』 | 第103集 | 『聖原一第1分冊一』 |
| 第47集 | 『上芝宮遺跡V』 | 第104集 | 『聖石遺跡II』 |
| 第48集 | 『池端城跡』 | 第105集 | 『曾根城遺跡III』 |
| 第49集 | 『根々井芝宮遺跡』 | 第106集 | 『筒村遺跡II』 |
| 第50集 | 『藤塙遺跡III』 | 第107集 | 『聖原一第2分冊一』 |
| 第51集 | 『寺中遺跡・中屋敷遺跡II』 | 第108集 | 『市内遺跡発掘調査報告書2001』 |
| 第52集 | 『坪の内遺跡』 | 第109集 | 『西一本柳V』 |
| 第53集 | 『円正坊遺跡II』 | 第110集 | 『佐久駿周辺土地区画整理事業 埼玉県埋蔵文化財発掘調査報告書』 |
| 第54集 | 『市内遺跡発掘調査報告書1995』 | 第111集 | 『上の城遺跡』 |
| 第55集 | 『番屋前遺跡I・II』 | 第112集 | 『四赤座遺跡』 |